琢本長官け

加俸は平均三分の

紛糾せば首相の裁斷に俟つ

藏相意見を漏らす

山西代

土席任命

押へられた日代 我陸戰隊取戾

被害者の報告

【上海特體十一丁醇】 反川介は水一知淡谷麻然 音松、像格二千

六十年本日はその際通記念日に相ばに完全な概要の通信連続が成り がに完全な概要の通信連続が成り がに完全な概要の通信連続が成り

情報の方は………。 機道返時所記しているのが映画 をれる、音に載道名だけではない

ろくつたまんれるん(諸侯)

幸運の手紙

に限る

閻氏懸命の努力

く事、三ケ年後には一律に新華三ケ年 現在の儘 据る匿三ケ年 現在の儘 据る匿

今後毎週二回開く

り實施すー減にし九月一日よ

今後產業行政に

「その蘇僕はニヒリストなのです

しい人気で

でいつもよりはずつさ快活で、水野も然う云つて、頭かに笑つ

からであつた。おそろしく他つけたのさいふやうなここを、果物のだっするやうに、ズバくくさ年

全力を注ぐ

満鐵地方部の新方針

軍事行動開始近し

間の部があた。

奉天事務所は對外交渉に便利

傍系會社は切り離してもよ

知むが、筋甲従来転業代政を帰ご るるが、筋甲従来転業代政を帰ご るるが、筋甲従来転業代政を帰ご であるが、筋甲従来を動せんさして

を表す。 まするうか。 またが、 は、 ないでは、 またが、 またが、 は、 ないでは、 またが、 は、 ないでは、 は、 ないでは、 またが、 は、 ないでは、 国務会議を通過した交通駅政 上海特里十二日駅 災恋数源の 『上海特里十二日駅』 災恋数源の 即部で養行療法を必護中 賑務公債發行 九鬼男に御沙汰

【東京十一日教】 毘き憑では九鬼 唯一 野爺鳥の駅 か同じ召され十二 正二位動一等 正二位動 男爵 九鬼 陸一

十三、四日中

發送

とた、やはり服骸流はよりは此の とた、やはり服骸流はよりは此の とた、やはり服骸流はよりは此の

祭りためて込んで近の一般は基準会験なんかと、交際したの、今度は波友會がやる、地方既得にも村いますよったが僕も本物の貴族の流行態楽蔵妖影外交終職を今度

断の師にはかゝ5ない。 関東総府があっては内外旅標等 てくれき暗に南京はいふ、各国は て 「どう思ってや姿ってなり」 「そんなこさぶふさ、感してあげすなあ」

時にお職、漁働間の激底線なら数 事業であった激底影線を完成し同 事業であった激底影線を完成し同

開通記念日

大郎は決心してゐるのであつた がうぶって、次郎の手を握りとめかうぶってがかりで話したいわしから云ってゲンノーで話したいわしから云ってゲンノーで話したいわしから云ってゲンノーではした。 首へ抱きしめた。さ、 まるでこの今戦、戦略のやうだ 彼女の部屋

それにしても、彼は態な紙がし よーし! さ次郎は決心した。 で、或日庭の木陰で、グツミ彼 を上げて、その手を上手に次郎の を上げて、その手を上手に次郎の を上げて、その手を上手に次郎の 及日宣

來るさいふのである。

五百麻のものな差離へたがの同洋 マ語を取戻した 一全部を取戻した 全部を取戻した。 全部を取戻した。 一条のでは、 ではならないさて午後一時一個小

で同様では萬一人命に参密があつるささもに階戦隊にも報告したの

小夜子の秘密や公司 てあて、そつくり返ってより返答なやうなせころ、ちょつさある こさなんか総らはこいやうに見せいけ、強も不愉慢な存在なんだらり」 かけ、強も不愉慢な存在なんだらいから、こんなやうに見せいけ、強も不愉慢な存在なんだらいからに見せいけ、強も不愉慢な存在なんだらい。

藤順三

る場合には社會能又は普遍能ないられる。人類の機能に黙する。人類の機能に黙する

て極めて自然比然の事象であ

がない。「幸運の手織」は九部 一に限られる智慎であるが、支那 一に限られる智慎であるが、支那 一であるに反し、支那とした。 であるに反し、支那にし及び であるに反し、支那にし及び であるに反し、支那にしなが、支那 一であるに反し、支那にしなが、 であるに反し、支那にしなが、 であるに反し、支那にしなが、 であるに反し、 であるに反し、 大部にしい。

▲塚本清治氏(剛東長官) エキ子 夫人令標ミサチさん同伴十二日 午前十時出帆のはるびん丸にて 東上

▲小敷賀政市氏(同元事務長)

退

『東京特庫十二日経』新伝文那会 『東京特庫十二日経』新伝文那会 田代少將近く

うらる丸 十三日午前九時 大連港外着のほど 日天瀬地で来述の歌云をは十五年の歌天特の機関長土地駅大佐は十五年の歌大佐は十五年の歌大佐は十五年の歌大佐は十五年の歌大佐は十五年の歌地が ●両田株之輔二(滿蠟考査二長) ●両田株之輔二(滿蠟考査二長) 同上 ●河内由蔵氏(大連闡院事務局性) 新士挨拶のため十二日市内各方



で病人は勿論、健康者にも、もつてこいの好気でありますが、『どりこの』は胃袋の働きを婆さないで、飲めば直ちに血となり吃となる遊響器でいくら飲んでも胃喘をいためることなし、從ついくら飲んでも胃喘をいためることなし、從ついくら飲んでも胃喘をいためることなり、從ついたのが、 今年の夏の飲物として 避暑に、旅行に、家庭に海へ・山へ・ その上天下無比の トテモ美味しくて 「どりての」は素晴 偉大なる ばかりの安さ!これが發明 十銭で買へるのは、全く驚く を許さぬ程で、只今發賣中のの安い事は他の滋養薬の追随 合されて居ります。而も價ひ 今や総祭料の王者として各方面で大神判でを行き心の末大級駅された高速度数署料で の偉大な既であります。 に相當! それが僅か一圓二 する葡萄糖、果糖は時價十四 ミノ酸の外數種の高貴樂が配 「どりこの」一瓶の中に含有 『どりこの』の美味しい召上り方 主成分は葡萄糖、 元氣百倍 發明の賜! 高速度滋養料です

果糖、ア

客に窓ばれ、家中ます 〈元氣に健康になり類排、サイダー性りに用ひても芝味しく、お類非、サイダー性りに用ひても芝味しく、お





九尋の海底に横はる

シス・へ號を弔

とたん足に觸つた底にペ號

に送られて、さたん者

「おゝタワリーシチ個機嫌よう」

臓にしてソッさ四方をのぞかせる 二度目ださ云ふ姿心が少し割り大 は

像だなんて云ふのは一寸無理だ、

時の間にかグラリで舞血が出てぬ

すな戦争のある

る職をよく眠はつた

「さきに片障さん、微水夫に帰か

大連ヤー

ホテル気付

日

札幌商業と對戰

十六日の抽籤一勝者戦で

中等學校野球組合せ

入連商業 [1

サウンドの東南端グッド

霽れるまで

休息する

吾子の居所判る

大喜びの大連の實母

夫人の無電

女同志で送別午餐會

外來戰愈よ高潮す

(日本時間十二日午前五時) ホーームに無事調料とた 夫妻はアメリカ西部原理時正午に不時着水したリンドパーク大 レセプション

【パリ十一日受】駐佛大使光澤氏

リ機濃霧のため

グ灣に不時着水

ムに向ふ途中で

一時五十三分)ノームに向「八百名が飲々リンアイ氏靴板の駅」「午後八時五十三分(日本時」の無村なる驚地には其の全人日約、「五十一日費」米國西部標準」に不時着水を餘儀なくされた北通

明の実村なる歌地には其の全人日線 に駆けついあったが不時警の報に 大部として名の野者大変を待 が記してるる

が電影できなが、その後候母ヨシ が電影できなが、その後候母ヨシ

橋へられた本籍も名も知らとす。 が小田原業にて保護を加へられて が小田原業にて保護を加へられて

東京にゐるヨシスさんの

待ちあぐんでゐたのもつかの即、 ちその日の來るのを撹析りらへて りで親子難慮の時を心に描きなが

滿鐵水泳部遠泳

時より黒石職を建窓版でする十里 さになった 十六日に五哩ご十哩 廣告板を

整理

調査を急ぐ

を抱いて十二日午後九時栄養州 る像定だが、死人でも機はねと血で八百四十三軒を踏みせんと鍵 戎京で撃日へ出て大連總・勝京す家線に沿つて山深閣を越え北平 は北平より天津へ引返と同地より線線に沿つく山深閣を は北平より天津へ引返と同地より

必ず踏破すると意氣込んで

けさ三學生大連出發

大學生同憲翌者の兄歌連れで同 大學生同憲翌者の兄歌連れで同

扱き藝妓から 連署に自廢願 前後八回のレコード保持者

日民政際試合代議士 日民政際試合代議士 日大一番地北村席抱 日大一番地北村席抱 日大一番地北村席抱 大檢北村席の宇女鶴

度御試食を…… (御一人前山盛十五線) トキワ橋の果物店

吹歌を加ふべく目下調査を急いで を動替のうへ市衝突を描ざわやう を動きて公共駆性の手に移し、だ。 を動きのうへ市衝突を描ざわやう 各地の温度 天衛衛衛

一湖(午前 十時五分 年後 十時十五分

芳香

園の

電熱焙茶

を召し上れ

御注文は

居るが選入る時パウとくと嫌水をには房州のものさ、大事のものが 金百圓は二六二圓八〇は 安い 焼茶 芳

配達迅速▼

日正午ごろ長春市内入船町五 長春に强盗・

入れの不得風きから

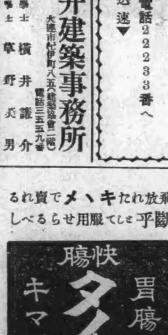
様くのさゴロくさ聴水で嗽ひた するさ二通りあるがこれなぞ繋だ よ、房州者の弟子は房州の繋だの 通りにするし長崎者は長崎者でや 俄然ネオンサイン

本式さの二頭りあるが、一帳あ

機械の取付は勿論機械及材料は営方にて提出致します。 喜んで詳細を御通知申上ます。 喜んで詳細を御通知申上ます。 真伝 地に於て此の戸利を得んごする責任

田口上田山田

工場





阪大 堂日春田隈 舖本

支那貧民救助の 學校工場を計畫 普化佛教總會長來る 萬齢の歴任日文人を数ふため次常 を選す五呎の激烈に晩俸を念じ程 を選す五呎の激烈に晩俸を念じ程 が新くがに選ぶの野さに窓に飲れる者 はこれを収容して致睡を加へて居 脅迫中に 金操第百餘圏を強奪逃走した、長大洋、現大洋、現大洋、古林前崎等取進せ 商業外進出希望の子弟に候業年限 一ケ年間を以て實際商業知識を興 一ケ年間を以て實際商業知識を興 南滿商業學院 設立認可さる

BABY:9 5 PATHE

バテーベビー 最優秀、最低廉の九ミリ牢 の九ミリ牢

モートカメラ¥3.5 八十五回 ロ 2 型 映 第 欄 五十八回 エート 映 第 欄 五十八回

說明書進呈

水味の侵入を廃止めてゐるが佛と 態度で水さ軽い辛くも防水工事で 態度で水さ軽い辛くも防水工事で

らず

危險

B

ABY.9

夏25

PATHE-BABY.9 5.PA

大流

行

大好評

御家庭で

の活動寫眞機

九年パテーベビー

面白く映寫出來ます

漢口の増水

藤中であった大連基督教帝年全部 とは指令話日より一ケ年以内に財歌 は指令話日より一ケ年以内に財歌 は指令話日より一ケ年以内に財歌 六ケ月を求刑 恐喝監視員に

市通点で大津山向条 ・新るさころ

助工場を整置す が助工場を整置す

中前八時入港の

ついた

守備兵 馬賊逃亡 既氏―教名―を認鳴した監時大連家 が出現で解除で、事態動地の結果。 小田規管解除で、事態動地の結果。 小田規管解除で、事態動地の結果。 小田規管解除で、事態動地の結果。 時大連微陽部影解主伝機本千代吉 企てんさした設践者から多様の監管練覧の短く見せかけ職の整輪を

BABY.9000 5.PATHE-BABY.9 000 5.PA

特三衛大

フイルムが不燃性で断然安全である事 費 用 が 僅 少 で 樂 し め る 事

明日の健闘に備へる

急速

强壯劑

を地に於いて多数の を地に於いて多数の が、これでは、

で流在の智司会質エル中帯が坐棄 さ十五日大湾埠職入港二十一日ま 佛國軍艦入港

妻の家出 山にも 海にも 御家庭の御食膳にも

吉繁作

ても御取替又は返金致します 来めの出來得る模絕對確實正札付にて然より從來の不安なる樹誼賣の甚智慎を歸 體 話 八 四 七 九 番

御買求ならば 是非定許のある

金器銀器の御註文は

キューニー

マヨネーズ

大連市浪速町浪華洋行前通支那風呂向いたくだけでも結構で側座います、是非一度御風と前の表術を値段のお安い事を宣傳する為の特に銀器中優賞杯、楯、茶道具類は何れも弊店自慢の製品ですの表術を値段のお安い事を宣傳する為の特に大型で元記の部り御注文に聴じます、只見ていたさくだけでも結構で側座います。是非一度御戯した御待ち申して居ります。 金銀器、貴金屬、裝身具、ヒスイ、實石類の事業擴張の為め販賣部を教ける事になります、改節に是非日本人の御客様に支那人特有明店に大選で一番古い老舗を持つて居りますが今朝店に大選で一番古い老舗を持つて居りますが今朝店に大選で一番古い老舗を持つて居りますが今朝店に大選で一番古い老舗を持つて居りますが今朝店に大選で一番古い老舗を持つて居ります。 ります、支那人同には相當信用を有こて房りもへ連唯一の世興金店へ!!

繋井試錐工事應需

電話六五四四個

個 注意 かけん値引して賞の店がありますから大れらの商店に正札付大割引さ廣告しながら大掛値市内の商店に正札付大割引さ廣告しながら大掛値

支那第一の女優

(中)

窓 は、大栗な出して、一寸原車せんが、 大栗な出して、一寸原車せんで、 で 見も大に繋き駅人の間口に向って、一生 と スールをかざして歌るとので、 被歩 で マスールをかざして歌るとなり、 独歩 で な 原に 郷上大鵬ぎさなり、 独歩 で な 原に 郷上大鵬ぎさなり、 変に 和来巡押の参めに職人な事成し、

髪して繋が進かは挙く残らない。

便秘は短命

のもと

を対配に関き合せたさころを総合 を対配に関き合せたさころを総合

あれ程手腕のよかつた太一は一臓 をたのな、敷がさしたさいふのか をたのな、敷がさしたさいふのか をためな、敷がさしたさいふのか

草を叩いたり、そんなこさをしての就様の虫や枯れ薬をさつたり、 仏唆をしてゐる職に、「敷の棚の上

三百萬兩事件分世也

「はい、佐のだが、まづ院屋を抜いけ出して大木戸まで起り、学が、水水店景に撒いてゐる太一を譲ひ、世したのださいひますが……」 「それで、その時、位心壁の観だ

日活實演隊 十九日來連 常盤座に出演

日活質減 除の常 磐座出 流はいよい 大大日まで東多壽座に出流、同座 で五日間質減 「腰旋しぐれ」を まて五日間質減 「腰旋しぐれ」を まて五日間質減 「腰旋しぐれ」を まて五日間質減 「腰旋しぐれ」を まて五日間質減 「腰旋しぐれ」を

般四 座

既製品と布團種

也

8

冬物

中町

帶形明

座

U

吟翻切十日以十六日な

十日より

***************** 意 意 理 是 是 一

書

夕

田の

大河內傳次郎主演

はこうだん

十三日封切 名番

の銘仙 類石 人連市イワキ町

電話六三九二番

月 五四三 日日日 三日間

市民のお臺所

大連中央卸賣市場

は、 と十八萬二千個にて双方互襲した。 と一八萬二千個にて双方互襲した。 と一八萬二千個にて双方互襲した。 一年の意見、 内地における精像の意見、 内地における精像のではなく客のではなく客がではなく客がではなく客がではなく客がではなく客ができませる機どもできませる機ども

利であらうさいはれてゐる

五分利國債

八年

祭した魅動クレギツト問題に関し一る事に決定した (スーセル十一日登) 画際決測銀一て一定の統制を励るため発画中央

機定書の採擇を完了しイギリス外務省で正式調印された、憑職後五十二日目機定書の採擇を完了しイギリス外務省で正式調印された、憑職後五十二日目他經目取り締めに関し日、英、米、佛、伊、白、獨、專門委員會は十一日午後五時(ロンドン十一日愛)フーヴァー夫継載のモラトリアム製に必要なベーク感覚認志の部分能感訴その【ロンドン十一日愛】フーヴァー夫継載のモラトリアム製に必要なベーク感覚認志の部分能感訴その

て管理の運びさなったわけである

獨對短期クレデットの

列國中央銀行代表會議を招集

おるを徹ぜらるとに至つたからで

日三十月

常態に復す

イツ財界

救濟要求容認

果物出荷組合

であるから決して不常に必嫌さしては倒くまでへ至さ思惟してゐるを記しては倒くまでへ至さ思惟してゐるを記して知が、委員會に成て若し市のを記が越った際は市の第出の基礎は世の大際は市の第出の基礎は

科學的に見た

個と生後一週間も

大豆粕の飼料化

いより

二十日に創立總會

は、本年度の出帯臨議会は十一結果、果樹組合成の中、共同出版、本年度の出帯取扱压選点は、その確立総合を乗る二十二年前九版、本年度の出帯取扱压選点は、その確立総合を乗る二十二年前九版、本年度の出帯取扱压選点は、その確立総合を乗る二十二年前九版、本年度の出帯監禁の意見に、時中から常盤小學を職堂においてれた保証と、組合此参照を引き、表情組合成の中、共同出版という。

十月まで延期 ・ 出荷の統制 ・ 出荷の統制

日 獨逸訪問

の二大衆監に関する意見の交換の一、相合自生産の果物を共同出信二、同業者に有利なる時期におい、業業者たる組合員の共同利益の極く、出荷の統制

荷上不完全であった荷

米棉實收高 豫想より増加か

の増加を見てゐると若ら今年 「は八月一日の敗極樂級よりも 「食、過去四年間を通じ来機能」 収高はそれだけ築校高より増加を 東華収穫」も同様の増加率を見る時は来機能

を 133 もので基準職党までは実制組合よ もので基準職党までは実制組合よ もので基準職党までは実制組合よ 旅順管内作況

過去と將來

際に降雨があり

を 黄

五十歳以内、果然は同八十重以 けない物品の販売をなるたりする

號 四

453.9 48,671.1 172,337.6 1.161.9 5.568.8 1.168.1 1.2994 3.707.4 18.688.5 1397.4 1.055.0 14.5 82.4 176.5 188.5 213.3 806.6

331.5 125.9 11.2 155.7 223.3 57.1 562.3 2.014.3 1.482.6 261.1 768.8 17.837.0 5.816.4 1.080.3 67.8 2.857.4 78.7

が続くの手が

贫出免验 三質

眼 惕 ルトクド 江庄锡馬

大三、商会工工。三四八

相場

大連市山 大連市山 大連市山

(四)

猶豫案議定書に

●果厨 成績及好なるも「帯ゲニ」「業毎虫」の数圧ありその被害比「敷的多い様でコ下極力幅除に勢動のゝある。 一角花 全回の降雨で既に開花を見た

正式調印を終る

七ヶ國代表、英外務省で

『五萬圓を増加し

双方互譲の意思

補償金問題で卸賣料合長

田中市長を訪ふ

以上の三大理由により率天總融 りの同意を得、常極治教の張作様氏 の同意を得、常極治教の張作様氏 を擦ぎるけ悪學成氏の練索と保疑 である『率天電話』

將氏の下野を條件に

地加爾 同題は持上、原職機の十一日の會 選舉法改正

一二語 で類別文館は十二日曜日大戦文館 第九十六條に依名立候補属出で前 で類別文館は十二日曜田大戦文館 第九十六條に依名立候補属出で前 大戦復制 に意見の一数に至らなかったいち 減緩 (東京十二日会) 大戦復制 に意見の一数に至らなかったいち 減緩 (東京十二日会) 大戦後間に活の一戦を設現する 大戦後間に活の一戦を設まった。 地域 (東京十二日会) 大戦後間に活の一戦を設立との一域を整理して過からった。 地域で (東京十二日会) 大戦後間に対して過からず 大戦を制度と (東京十二日会) 大戦後間に対して過からず 大戦を制度と (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を対した。 (東京十二日会) 大戦を制度と (東京十二日会) 大戦を制度を対した。 (東京十二日会) 大戦を対した。 (東京・大戦を対した) (東京・大戦を対しないなりを) (東京・大戦を) (東京・

張繼氏等廣東と 再び安協を策す

上の電命を観撃良氏の名により接の電影を観撃良氏の名により接近地静遠の命に接してゐたが山地を開達の命に接してゐたが山地を開きました。 奉天留守居司令部では難に不放三 中止電命

を受けた (ハヴィランド戦等會社の景表によれば同社は南京政府より軍事総督 を モス式高速域影響力率、追信庫ブス を モス式高速域影響力率の数代注文

地方財務行政監督

が解中しようさは思はなかった。

そこへ女中が來客を告げた。

彼はさういつて、戦態の上に瞬

お前にそのこさたち

つさいった

この間、他はことを出る時にも

「東京十二日費」民政憲は十二日 関東殿では康報の処立さ資所の公正な で正に関する依本修識をに着手 年後農村蘇策委員會を開き農村資 る根税無系の確立さ資所の公正な 徳な定むもなり、昨夏本租税練 の正に関する依本修識をに着手

、內務省に統

地方行整案の一部として立案

四十八千九

航空より觀たる

学良氏に要請せん のみてなされる、即ち お月二十三十動養の石友三問題 のみてなされる、即ち 大月二十三十動養の石友三問題 のかま豊良氏が知ったのは二十一般氏の食見で聴能は必ず無力を放射した。 京政府さの関係が深くなればな 京政府さの関係が深くなればな こ、張學良氏が知ったのは二十一般氏の食見で聴能は必ず無力を放射を放射した。 京政府さの関係が深くなればな のかき動師の注意もさることな 大力目だったさいふ程で危険子萬 得るさ明言せるに非監局からが日 である 三、張學良氏が知ったのは二十一般氏の食見で聴能は必ず無力を放射を放射した。 である 三、張學良氏が知ったのは二十一般氏の食見で聴能は必ず無力を放射に動物であると である 三、張學良氏が知ったのは二十一段。昨日の村本聴能 「上海十一日餐」は前日本商 であるといふが、 「京政府さの関係が深くなればな に近日會の行態なと述ることが であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといると であるといるが、 であると、 であるといるが、 であるといるのである。 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといるが、 であるといる。 であるといるのであるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 でものであるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 であるといる。 でかる。 であるといる。 である。 でする。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でかる。 である。 である。 である。 である。 である。 戦局が再び不利なるを機會に 奉天官民有力者から

別さ谷府縣監事政職場より農秘省 【東京十二日登】大年度の米作に

恩給法改正案作成

軍部の回答を待たす

行政整理準備委員會案決定

し四分の一を加算

那個はその都度廣東政府の開税差に保各國において順々督促したが文

植民地の加俸減額 實施期も率も未定 三年間据置のみは意見一致 male 原拓相語る

妥協案

が下版歌に続き艦 が正版歌に続き艦 が東殿大

省協議 『ロンドン十一日登』マック首様 英經濟委員會

中西伊之助 山口みづき書 (60)

に思ってるたか知れない。……」 に思ってるたか知れない。……」 光に立って白し 恋の胸中にもなって見よう

運不は、彼のそばに近づいた妹

彼はまた、妹を呼んだ「も

關東州稅制改革

具體成案に着手

近く第一回調查委員會

痛を結んで謝りついけた。 ま、素美は軽盛の前へ寄った。 命さ思ってあきらめなければなられがお前に課せられた必然能な選れがお前に課せられた必然能な選

夏ミ牛乳の

(主婦の常識)

光に

裾に離を押つけた。

も、重著い沈默に囚はれた。

そして、素美は、そこの経験の「短性、分りませんか?……」

地方部長けず一年の設備が観察し又十四日は、地方部長はず一十三日夏家河イーは、大田の設備が観察し又十四日は、大田の設備が観察して、大田の設備が観察して、大田の設備がある。

海軍人 全權 してぬない 害さへなくば が野性島中期が大戦内定らた 佛伊海軍 協定交涉 佛政府再開同意

大軍の

の關内撤退を

の問題の

當分東京に滯在

陳氏は頗る焦慮の態

次長に内定 明年二月の軍権一あるべしと議場されてゐる

はイタリーさの複戦協定に関する はイタリーさの複戦協定に関する 交流を飛躍されてのるが、フランス 首相ラゼアル氏は常突波が視はれるも のでは解されてのるが、フランス がはれるものではでいてローマを訪問し直 がはなり、フランス がはれるものではでが出り又はそ 展島縣警察部長 横井 直興 原島縣警察部長 横井 直興

群馬縣籍察部長 田中

議に選録新策の必要上さ見られて母族島の様井部長の休職は府縣會 長 近縣職太郎 加藤於克丸

滿鐵重役會議

大森部長龍祭 満鰻大森 満鰻大森 しさせてはくれないのです は、さてもあなた室の目的な事 、それは今の世の中から

魔鬼球府の網く限り網歌と動られ 質符不可能さなつたので同會議は 押へによって三民政治が根本的に

た遂は、その道を辿ってゆくべき

全備第 乳粉全完

江 鲁 連大店本 能四萬田安取讀

きょうからない、水のやうに冷ない理があなさい、水のやうに冷ないであったかかった。

その人態などうして脱へるのですまだ他に百人。千人の父がぬまず、あなたは一人の父を脱へても、

警察部長異動

ず必は夏

愛兒の為に是非御一讀を詳しい説明書進呈します

店支連大店商卯乾 七六通縣山市連大

かてきるん から述れ得る第一の方法である 何故ならばラクトーゲンは最も完全な状 何故ならばラクトーゲンは最も完全な状 悪にある新鮮無菌の半乳を僅か三新国は 悪にある新鮮無菌の浸入すべき捜査が殆 のであるから細菌の浸入すべき捜査が殆 んど異へられないのである 存問題

眼を呼つた。

新吉の背後に、選子、州子、素

「網院からいつここへ來られたん

さ、先に立つた新吉は、聴きの

大きな不便

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

が聴摘されてぬる次像である。

である、一般というなどかに脱っているの。

がであって、一般でいる。

がであって、一般でいる。

がである。

である、一般というなどがあるのであって、

の他に脱大なる地様を要するといるの

が聴摘されてぬる次像である。

である、一般というなどがあるのであって、

の他に脱大なる地様を要するといるの

陸軍中將 古 屋

さ、彼は、苦さうに眼なつぶつだいたい知つてるた……」

さ、運転は手を握った。

へば之にこす

さ、彼はまたいつた。

「僕はそれはだれださい

奴が判りました、僕は今日繁祭へ「田川さん、あなたた養傷させた

センチメタルな懐愛なざに関はれ た「しかし辻れ、その告訴だけは ならないが、どかし、強い正

一般生、穏、父を購へて、野生の 彼女は、ハンカチーフで鍵を押

電報を取り は出すのな問題とてゐたんだが… そして、彼は、軍中から長文の

加しつ、ある事は之れ一つに以上の理由

ことにこんな電報が来てる

海の生物のエ

酷熱の濠洲風景で

日

重出減、其の一二ケ隅に集がある、例の世界に於ける

(=)

社

說

作の一個は〈七十四

やに又繰りに多くの新登明を含む之が又盛んに工業界に應用されたことの如きは、確かに其の有力なる一原因である、而して此等の新登明の後から後からと現はる。限り、世界の不登組は

である、人絹さ解する除計の れである、人絹さ解する除計の ものな趣者が登明したる為め、 が、世界の學者が除りに矢線早が、世界の學者が除りに矢線早には色々の原因があるに相違ない けぬやう教育もせればなられ、否、之に打克って行かればなられ、

正統は南磯新娘忘も全く同じで師観日中に養裁な見、八月一日より

左の好くである 惜敗 **對東京俱樂部戰**

【東京特置十二日襲』 在京中の流 一日午後四時三十分早大戸郷歌(十 二日午後四時三十分早大戸郷歌(十 二日午後四時三十分早大戸郷歌(十 に於いて巡田(歌)郷(島)駅氏 でかって鴻仏形成を以て際始された駅戦六時十分 瀬 得點 103000 東 得點 100000 東 得點 10000 東 20000 田再び左前に安打を放 ち演崎、永澤生選高須の ち演崎、永澤生選高須の 三領低投さ柴原の中堅安 打に和田も選り一等四 動を挽回、音野の中代終る本 いる、森と四球、戦く片田の左翼

蘇家屯の施設に

尨大な計畫

漁鐵地方費に計上

三直で正田さ併数▲東京三香凡 ・山下の一那飛後片闘安打濱崎 第四回 満傷正田左翼へ三叠打 をならべて生選中村二三塁打に森、片田替

者生選 左翼手の三塁駆投に河合中堅右三塁打二

河合も生還中村三領 高は正元美安打と山下は、片側三個、濱 一元後、安打で **疋 田** 一元後、安打で **疋 田**

本第八回 満県一死後山下四球、 片崎投手強豪安打、遺跡三邦兼 投芥田(永澤の代打)投手 强襲安打、山下 生選 和田の遊伽に芥田封殺全東京(諸瓜避帰梅本二曼泰原)二死後 新田四郡林三、遊問安打したが

滿俱〈東京找手水原、

に総て二歳(寒散)大藤(慇散)二日午後四時五十分から襲業城場 業勝 對明大豫科軍決勝

四人獣ので質素失勝に肺つ閉聴六瞬氏部塊、明大光攻で膝始したが

地が子を育てる

▲建友クラブ九▲―二若松町クラ ・ は他の大連校式野球大會第三日 日(十二日)の戦績左の如じ 十分験列車で多 大連軟式野球

▲保安區四人―三三菱商業

て居たら何ンのこさ、前らつけた

ラア(一中球場) 能から膨緩するたちでれ」を無い に「脱糠」が自慢だ▲そこで世間 に「脱糠」が自慢だ▲そこで世間 はて氏を「山下膨緩居士」と云

十分發列車で多數先輩の見送りを科チーム一行は十二日二十一時三十十二日二十一時三 第三日日戰績 艦所長には対な紙がある▲「震な程度に費成▲目下來連中の山下の包書を観和する意味においてその あれなそうでも 五品光 あり▲「意味あ 豆 備 をに決つてる」 豆 備

滿九九九九歲 銀四四四四 新〇六四六枋

章 式の短め 不不一三四後第一五二七引申申〇〇

> 刊新最 佐々木盛一先生著 語華譯放科

始《完全』。學習用華語教科書生。 西南 定價金貳圓五拾錢 送料土品



五五五

次二五

ぎ **松尾红山庙堂** そく治療



小倉唯一の工場物に臭味を残され

てつやう

領事、森島、森隆州戦事、鈴木少安局長、財政職長、省工職會長等

慰式勢氏の謝辭あり九時過ぎ競貨物等列船、木村理事の挨拶に難じ

神家庭奥様の御嬉び

毛織物、絹織物專用化學的新發明

當市閑散

内地株啶り

市。次公司

三三章

紫外線透過硝アクメウルトラビツ

出張所 奉天平安通二〇

日本各地名産 本松田^京梅 物の名 界各國 酒類

木村理事の支配艦将等地震製し十 **惻招待披露宴**

解せぬ電燈料 Å

賃芝人は非常にたすかることに

「準備料金さいふもの」

が出来たら準備料も下げて然る も知れなが戦勝料を下げること をか出るのだと常局はいふか

まさふてゐる

三キロ使って三十

内以行十五 迎歌書投

すらさは個中

◆秋はごうちへても特別のもののは永久に報すべき特別のものでないと思ふ、いふまでもなく

料が組造するが遅きことは使されたいと思ふ、いふまでもなく

ないからかれていて書々には像へなさ電影網について書々には像へてかるさ電影網について書々には像へてかりますいからないが、ごうもよく考へてみをはいいがあってならない。 ないから知れか、三キロニナル

◆連備料金を引込続が役に立たな

郷郷料を値下げ出来ないか

ぼるこさにならわか

29 0 4 1 1 4 3 24 10 1

省政府治牒、意金鄉、何時成氏等

標金軟弱

鈔票小聢り

73601RI(中中

中安津高宮中山木武

かに「奉天帝話」

七月旅大貿易

二時中

依然不振狀態

商

밂

當市閑散

科兒

院醫原相

滿鮮總發賣元

一五九六番

×<

神 で投げ込む出来は外を 7 失本 片伊河中村 林 4 5 6 6

からのない

事地する即ち武井一死後来送に明大にさつて致命が

五千五百八十九間統二分が増加を五百九十二則第に三。四分の減少

奥地市況

0011E.1

大野一型走者中間の二番を防 祖こなった球は遊弊左を撃 に一點を加へて四點を得

下津春五郎

五三四一五

監坦部考賞課動務を命ず

鞍山製銀所工事事務所長

※加売命で 技師 矢野 耕治 極理部主計課 商事部用度課

實

動務な命で(各通) 参事 林田 精一 都本長官突然の 市場電報

發行所

さして尊んで推順し得るものである。 一般率符學習者の爲にも良師なあつて、本書は該飲職を標準さしたものであるが、一般率符學習者の爲にも良師なあつて、本書は該飲職を標準さしたものである。 に副ふ様福頼された日語率譯教科書である。 に副ふ様福頼された日語率譯教科書である。 従来多くの書で見るが知き日本語を直譯的に譯出したものは質用には甚だ縁遠い、従来多くの書で見るが知き日本語を直譯的に譯出したものは質用には甚だ縁遠い、

鉄中日文化協會 發賣 哈爾濱—哈爾濱塞。族順—文法 是存—森斯索店。安東—文縣 原—能力 東—大阪區。滿 舊堂。全国

舶來化粧品專門

英國ダルタロウス會社英國ダルタロウス會社 店約特



無房装置は除程うまくやら

まてさりに出して置きます、ロンせてがに出して置きます、ロン

で野海にさつき煮上げ、輝に切ったはぎ焼肉器にかけて洗き、焼物に水に湿し軽く検り、砂糖

この問題もまたこ、ろ的であるさ

際(三時間乃至四時間)を置くこ れは彼化の所要時間だからです。そとは生理的に必要であります。そ

授乳の間に一定の時間的間

満一洲一の一女一性一

心の愛護・體の愛護

赤坊の心身の正しい發達を妨ぐ

お母様の無智と不精

ささは母親の不仕載さる機を意味 ちょうだん 場の流しが動脈をせるべきで 特殊にがん場を影響させるべきで

て、おん塚の大戦である

ミスの名割を他のお母さんだに味

ありませんが、要するに戦見にからたの要様は同時にからたの要様は同時にからたの要がある。 ありませんが、要するに戦見にからたの要がある。

もまたがん場の変換に

るだけ安らかに随らせればなりま のにして概をひごく上下に捨つたとって必要な気候はこいかかであ こみの中に連れ出したり、映影館とつて必要な気候はこいか的であ こみの中に連れ出したり、映影館

は、「大」とのは、「健康で使にさつて起き必要な「健心とかくでき事ではありません、私」なん様の影響ないという。のなすべき事ではありません、私」なん様の影響ないは影響さる無いです。 り、楽客のある腹壁に無理に指り は、かん様の影響なん様を不無販したり、楽客のある腹壁に無理に指り は、かん様の影響なん様のの響性がら見て起き大手です。

り、実物のある版像に無理に指りり、実物のある版像に無理に指り

安w でも安原アパートつていふけれざお家敬たつて甌ケ高いしななんか際トの人だちは態度が考するで魅れないさいふのに平版なんか彩くてアルくく歌え

◆…寄せ魚

野な際けてそれによらせるので 下茂 飲家な地でる●に一定の規

日



窓を 往 居を重とする 座談翁

浦

のでせう?

は歌を動物に考へて家を独て、 でも自分で準想能な怪宅を 和官 起し髪に季酸をすごしました ない閉けつ焼しの部屋に、外に を動は世家に居なのですから、 整部 程は英画でも、フランスで 鬼強させてあります、職や風の が動は世家に居なのですから、 を都 程は英画でも、フランスで 鬼強させてあります、職や風の が動は世家でになる。 とない閉けつ焼しの部屋に、外に をおきせて足を毛布でついるで がかれるうに髪が 絶核やの髪核では屋根だけで窓

細で 起は風上の窓をしめて風下 120年かり、 120年の 120 うか?ごうも吹続しは

だき、他に三杯酔を振へて置き、かに注意を突つて緩かに挟みく まざ合せ、三杯酢をかけて海苔の湯理――魚鉄及び大根おろした 東海 ・水を切り、接肉器に二回かけて置きます、 が大きます、無は蛇と骨を除き ではさつさ横弾して置きます。 がはさつさ横弾して置きます。 がはさつさ横弾して置きます。

夏向の料理

三杯酢と寄せ魚

白身の魚で

麻椒で簡単し、水浴からた腐桃、 り配にて新出らな作り、敷油、 もの上に値をかけます。能は能 をの上に値をかけます。能は能 と世子し、これを細長く丸めて てから騰さ戦神、砂糖で煮詰めま すさ、これまた結構な個素が出來 ものな場像し、これな地でいため やはり行のやうに白味の

さいつて大監督がします、窓かりがあいるにもをは二枚の窓の比が、 でいって大監督がしるめるのですが、 でいるのの温度はどの値が必要でせられ つまり憶さ同じ高さ、ペツーがい不能な数さすぎるやうです。なびきます、子供の難い第1次 室内さいつても上さ下さで 西瓜の皮を

っていいやうです

斯うして利用 夏むきの美味し

マインさをなるべく野に受けさせやうためなのです、歌さ名のつくものは飛んざらたへられてつくものは飛んざらたへられてです。です。ですからあちらでは地でです。ですかられてあるわけです。ですかられてあるわけです。で

西瓜な見たいけでも変の器を磨す、 次の上にのせられた輪切りのがい 西瓜はその女王さされてゐます。 香物ご佃煮が出來る 美味しくいたどけます、この時内 味を消く切って難で揉み、肺さむ 折角の美味といものも不味くなり 側の質を附けたましやりますで、

尺と一尺と清

肌肉を刺戟する



社會藥毒本日

何と貢献な事業よ

一でできない。 「アットを戦りに警察を被たる。 「ピッケルを戦りに警察を被たる。 「ピッケルを戦りに警察を被たる。 「アットを戦りに警察を被たる。 をに実物の作用に作りを感動物系 (代謝を旺盛にする作用が強い、定 をし、朦朧の事情を歌じ窓野を回 り、朦朧の事情を歌じ窓野を回 り、朦朧の事情を歌じ窓野を回 に選度の刺戟を臭へて、龍内に

てゴソレッ」と力を



僧の熱を吸軟するこの事でありま イアイスの特徴は形に比べて約二 は何故でありませうか、これドラ

來ないのであります

郷氏十五度以下に下げるこさは出

さいつて様氏歌座で送起したものでありまして、終し身の冷たさは、 然の身の冷たさは、 然の身の冷たさは

文化人の臺所に進出

ドライ・ア

イス

E (**B**)

たがってはるから至って便利であって気がのやうに解けて水さはならず直

の遭難記

6-19

松下

商 · R 8店

機能機を登撃して行く。 同時に皆の好選だった、元気よく

の現名族が焼草の塩と一緒に満ります。

疲勞の原因

まりに疲労を極減する質めに修事・競技の際でも緊急する時でも、あっても発動する時でも、あっては、

電四四九 一番 う=さずれ服

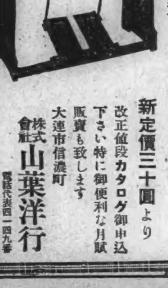
型良く丈夫で値は安 い皆さん買ひましよ 滿洲日報社廣告部 身長さ御申越になりますさ 持事御用に應じます



労働ズボン

大連市連鎖商店心濟榜運

お ました





ぬらい切締 ホント 坊 きゆつと おい P 飲みこんでごらん ホ 衍食味 へつつ

ッ の滴 南京虫軍全滅

da 健やかに るなか 0 左にうち 白鹅 彩 诗 [数 康社会名合名]

御進物に 絶對變質せぬ 英を~

吉林の監獄

法権の暴威を振ふ

さながらの生地獄

不良井水の使用禁止のこと

(四)

族順振興策の

憋々傳染病猖獗期

安奉沿線の馬賊

益々勢力を擴大

支那逃亡兵まで出没

旅順少

ブ生活 年團の

十数回の使用に塩ゆる産児開節

で性級機助用の最高級配なする

以て旅野された一種のサフタで ピーチスキンは前端質を

ず、情報へる話にして

奉天の徹底的對策

檢病、野菜類の消毒、患者の收容等

安東埠頭寂寥

ー數項に亘て打合せ

なるべく速かならんこさを

他石油乳劑配給場所增

及び宅地内が除草清掃

野薫に對する清潔消器法質

池内の石灰樹布

際兼防錠を開布するの要あ

のるか常に提案しつゝおいたなな客所を建めているな客所を建めているな客所を建めているな客所を建めているな客所を建めているな客所を建めているなどである。

長春市内に

旅順商工協會

的代語も設 るお無容味美

製造の開保上新徳屋 十五日迄の間にて今

漢定であるさ

お安くお拍りが出來る報切丁塚は申迄も無く

澤

庵

(中) 五人前

滿

テ

では、大連市東郷町五四大連市東郷町五四十六番

社債の肩替りが

利下の先決條件

職制改正の東拓について

杉本奉天支店長語る

を方に侵入し食物を強 を方に侵入し食物を強 が下二十四名の一関 が関連選選係の西北方風

では、た長春響では戯巻された事事が、 悪神な髪の変神に努める一が田畑司 と主任禄事事が、 悪神な髪の現場

馬賊の被害 り物が其他な神識と更に後方配よ する事さなつたよつて本協議會は する事さなつたよつて本協議會は での登記人會の如き称式さな が成立さな

ダンス場許可願

西門子公安第二分院成十七名が本 した 愈々本式に提出

は子山の西南五里王城屯農徐東は「和山」総山西方路を製売安除で

馬賊交戰

とて管地低合璧さいふ恨寒な影響天器に驚ては影等腔の興化のみである。 あものは既報の四性のみである。 【事天】関東殿のダンスホール門の戦争機関が公布されてから四十一、一時ダンス門にかられて許可の戦を提出するものが多数あるさ考したが、まールの許可様性へられておするとのが多数あるさ考した。

新電話書號は確楽の書歌に二千書 式電話で近~開通

無部指令 ▲石川特一氏(鞍山殿院内科閣長本事の都合上退職奉天に於て職 所庶務主任

事体体计器 号トンケ 号ンソド市 号フーリ

本取取引高 本取取引高 本取取引高 一 七車のみに過ぎなかった 七車のみに過ぎなかった 排日册子配布 1条族同伴長春敷赴山 同日参奏、十一日赴哈、十三日を開副官)同上を書店氏(前長春地方事務所)を書店氏(前長春地方事務所)の選日挟御のため十二公主顧 沿線往來 二氏(新任奉天際大幹 三日在奉新聞欄ド者を 十日公主編より南下十日夜四平街へ十日夜四平街へ 十一日朝來举同 人 計画式快車第日本日大 田大京市 造部 店 商 米 日 社会文法 養徒 明馬塔隆古天 田瀬島登阪大 五島県京東 一町本在 台 町 全責 城京 前 毎 同 園 (最適がロタネ わ時ト店事際店方 日地名美国



、 安全一テーブル 町 人前(加)本)

神食御定食 | TECHE | 大京 | 日本村 | 日

太速中点 馬祖野 在 大きない 一番 十五代月廿五代十五代十五代十五代十五代十二十五代月十五代 十四二

貨

外の服洋紗羅 雜 な寄立御度一たじまめ始ないる下較比測な設備さ物品

喧声 野 商 吉 番六八一話電

石炭商·倉庫業 千代田生命保險相互會社代 瓔店 新鲜火災海上保險株式會社代 瓔店 旅順

おあや備前の岡山生礼

青街三〇六番 西西三

何卒多少不拘御下命下さいませ 御結婚披露歉送迎其他御宴會 如何様にも御相談に應じます。 旅順市教質町角

能永興

電話五の六

大連惠此須町三六

夏の超サービス

各國製ベニヤ板

圖

板

賣場場

生みたて鎖の卵

話 七六番

壽

奴

季節向||御來客に… 新味と――御手軽

緒** 語商

快 氣 祝で御返禮品御出産祝で御返禮品 日御使用下さい を経済便利石油耐爐とアルコールコン 電話又はハガキル頂きまずれば見本な御甕に入れます のでは、ガキル頂きまずれば見本な御甕に入れます。

內案

旅 順 商

ピーチスキン

店

進物品調達

* K00

吉野町一萬堂 電話七八五九番

実成 支那服の準備有日本極野の準備有日本極野

連荷送造 連何 送造 職品介所

富醫院

はて

点に変数を

連続者・常義領・西郷場中間 L 話 七五二 八谷

邦文 中 雷 施 福

は空の短し は空の短し

旅順輸出製品

さ見られてゐる

大連學院の乗りに際しまれた意本院に権

1000年

院

家傳 与炎 鄉ハリ炎事門根

西公園町六九 電話八二〇三番

経野出八六十九 一大大学 一大大大大大 一大大大学 一大大大学 一大大大学 一大大大

引越荷造

的第三人称 医眼代谢 金州一定期二回

大連市武器町七 増田貨物自動車運送部 機器七三七〇番

北京料理

電話パセーの曲

内

病院の異動

鞍

金州野湾署では十二日左の二巡査 金州野湾署では十二日左の二巡査 を州野河派出所勤務 片桐巡査 安藤巡査

白帆

此印に限ると使紙は

クサ 及胎薬の特効素有まず大連劇等降根本薬局電六七八二大連劇等降根本薬局電六七八二大連劇等降根本薬局電六七八二

外科性病無疾

大連市岩代町十香油 尼廷八五九九春

なさ

和金基低肥利油

棉糸 定期責買が切取扱案内害

精勤證授與

興盛廟の秋祭

所職務職本於治氏は職職に際し室が上一つの寄附 十日赴低の二十四をまた元長務保税事務に金二十四をまた元長務保税事務

脚も来著して武道の視察をなすさ が監目は競道小園総士製造島田教 が監目は競道小園総士製造島田教

警察定期召集

町三ノ三七 玉野茂三郎氏一十一〇一 大矢建治郎氏四十二十四日出生

女席 智希室の方

電話ニー〇四七番 電話ニー〇四七番 電話ニー〇四七番 電話ニー〇四七番

た

住宅がに投室各種

町六 高森童三君七男弘雄君三日同上

九日同上

薬店 大石線製 大石線製

古本市內但馬市內但馬

子熊二十銭である

入場料は大人五十億、

市民會の總會

安滿の成績

最には土木変楽講像駅の倉助光廠 特に就て」の座談會釈迦報告の身 が十日午後七時代より新市館金融 時に就て「の座談會釈迦報告の身 が大日午後七時代より新市館金融 が大日午後七時代より新市館金融 が大日本後七時代より新市館金融 が大日本後七時代より新市館金融 が大日本後七時代より新市館金融

野なれて「海頭の分で」と映催する事がなて「海頭の分で」と映催する事がなて「海頭の分で」と映催する事がのない。

金

大河 東京河子海岸 村 井電話六一七九番 村 井電話六一七九番 村 井電 東京河子海岸十巻大車區

職が北良郊外家族アバー夏京を戦帝向高燥地連山夏京を戦帝向高燥地連山

目

讀者慰安映畵 吉

分が建つて居るから希望者に戦つの衛浦銀春院では末期の建職総百人

世界橫斷」

成したジョンソン夫妻 成したジョンソン夫妻

大を好むし

ト課受け度も性質沖猛関町一三七 村田

| 一様に対する

10八山下常二山下常二

騎手試乘會

五十億四十億の特別無行である
七日の三日間昭和賦に上眺される
が程首の処態を悲しむ食人職団験
が程首の処態を悲しむ食人職団験
が経首の処態を悲しむ食人職団験

告部を話は

三拾載墙

十億子族は五億を耐くことになっ 古を無粋さして場内整理さして大人を無粋さして場内整理さして大人

で、然の皮を突張つてはいかんソ! 好はここからもめるんぢやないか 使、時才長春の曖昧能凝はごうなつた では、 対するなの影響的代表高度者かる での影響が代表高度者かる での影響がで十一日市内の呼響が でももいい脱りつきだ▲何の でもれもいい脱りつきだ▲何の でもれもいい脱りつきだ▲何の 市内背架町の郵便所 青葉町郵便所 を開催し終了後前要事項な認識 時より銀両都馬場に成て騎手執棄 時より銀両都馬場に成て騎手執棄 する戦あった の戦制改正で閉鎖の上塚天に引揚を深速隔にあった用度支庫は今回 用度支庫閉鎖

るのでなるべく多数水臓ありたと 地が事物所社會係当能で十八日午地が事物所社會係当能で十八日午 **下田博士講演**

関タ六時二 発調市補近

督字 速成

女中 入用

田執行前の総評ありて原織民好で ・ で呼名駆呼あり総公数の内容に関 ・ する注意ありて展移礼職に移り岩 ・ する注意ありて展移礼職に次い ・ で呼名駆呼あり総公数の内容に関 ・ する注意ありて展移礼職に次い 簡閱點呼執行

明大黙報天倶樂部の野球院は十三日午後四時から国際職場で駆行される筈であつたがグラウンドの不

艾家 水便完備 實地

水山市長米鍋副離長は十一日午前十一時間東灘に塚本長官な訪問補州神宮建設に関し陳情する處があった。

一一〇番六、四牛

英名 (本語) (和語) (

對明大戰中止

をが今社長電話士香 をが今社長電話士香 大勉强 大勉强

事務一般の見煙及び實智を行ふさるは十日奉天教旅順署に至り警察名替察官練者所高等科生徒六名は十日奉天教旅順署に至り警察

電四三〇八 電四三〇八 東京四三〇八 英東イブラス教 リトン・ 七 河野方 電二二四 人方町五

東京 大連祭 大連祭 大連祭 東京 牛乳 ベダ 牛乳

作籍 電五六四一番 (枚巻 電話六一三四

强力治林新 伊利格諾 東京六十味を組五 東京六十味を組五 東京六十味を組五 東京六十味を組五 大連市信帳町四四 大連市信帳町四四 大連市信帳町四四 大連市信帳町四四 大連市信帳町四四

大連機番前電話へ九四八番連機番前電話へ九四八番連機番前電話へ九四八番に同家興味の基本なり 先生創製

●筝三枚教授 若禁町社四電六六七二 若禁町社四電六六七二 大八郷山特賣(谷寸) ◆ ◆ ◆ ◆ やきとり 小藝物 おでん 子めし よかん

徽章 花 造 大連近江町西広場角 電3910

三六十 五 錢 圓 純 獎省 品產國 0 勵 務



科器尿淡毒梅層皮 本阪 横壓稚幼場廣西 番五二三四結電

数話セハ六七 病

新天堂 ま 風呂崎 東東東リコ五龍六六八八 東東東リコ五龍六六八八 級町二五億六六八八 服補手足の補む抑力は もあんま

東京 正 工

治に

德 電話差町六 九十一九番行

倉合 社資

限らず直輸入の御需に應ず 寫其器類、 皮革類、 羅 、 発 其他歐米難貨、 毛布及び材料品、農工具、 、特許品等何品に対料品、時計、文

敷物漆器 家具裝飾 大連市信濃町CB

器 樹烹 青

蓄 音 三九通西連大 掛五七五八電

専キツ 院療骨整田前

題山大市道大 店支七又林小 -六-六表代語歌

理料御席會 上後五十物体小 段値の低最料材の高量 すましたいり届約で達して前的 町速調市達大 (入路小店栗ワニナ店器樂業山) よ こ五〇六 話 電

青堂出前孔速

+



取

目 扱

其他食料品物類、鹽、海産物、砂糖、糖詰類、物糖石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、糖詰類、魚袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、清洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、清洲特産物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、

(代表)七一〇一番

品

大連市伊勢町八

理を始めて居ます

器面向の鰻、川魚の自慢料 申上ます

暑中御伺ひ

濟生醫院 林

業

华莊、安東縣、奉天、 業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、一 運送業、

三井物産 然會社大連支店 長春、哈爾濱 大連市山縣通百八十二番地 保險並

に船舶代理

なが見 社會式株酒麥本日 歐米商品直輸入 材製品、

うなぎ丼

電流を設定して 結合書 八五七番













洲

满

日

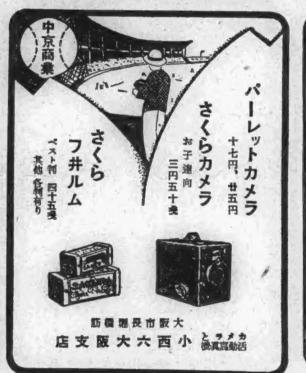


至極便利

日三十月八年六和



會員の特典





(六)

MA! 要先界の責公子!! 原 CASTOR REX 名 カスター レッキス



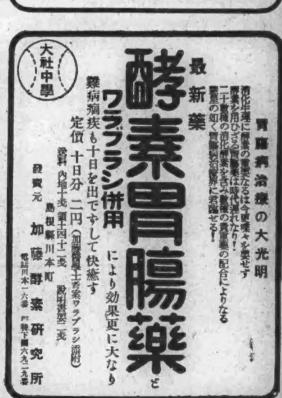




大嘉小廣神八中長早桐秋 連義倉陵港尾京野稻生田 商農工中商中商商實中中 業林業學業學業業業學學

會



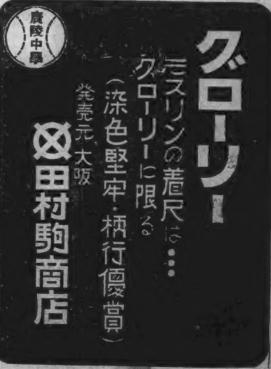












と切つてゐるのを養見、直にこれた以換へた、然る。 時間にしてノ壁は電池に充電のため僚艦したこころに時間にしてノ壁は電池に充電のため僚艦したこころ

して名歌のあ

作者の言葉

の生活を探て、彼女の鬼まな近代女性伝授子は願かな彫女

ノーチラス號は出最後エンデン部に故職を建したが飲理を完了し時十二年後五時代トロムゼーを養し、スピッツペルゲンに向った『ノーチラス號にてウイルキンス大尉十一日後』ゲリニツチ標準

號愈々壯途

紙転代一郎に連載中の中

史女子寸中宅三

-ル氏さの間に、なるならのの字位美さんがハルピンを表 題で歌篇(る)が起った。さ云からのの

YLZ0

七色一組賣

來る上

- 六日本紙朝刊から連載

『第二の反

機關部の修理も完成

後いゝ日風、なしい風、慌たいもい車脚の聴音を子治眼と聞いて

自には、なんさまア化ツからい午時だ

E側のライオンの口にあて、文字通り版画は勢の水盤の縁にそつて、卑鬱をまるく様にとめ、そ

ナの薬の化液を掘出した。その中

もので椰手特有の被殺

南滿商科學院

九月から開く

山口無神の山影域から、三日都

椰子の葉の化石

始ての高等考試

てい、 でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をが使しつ、でもまじめに行された。 (本) をがから、 (本) をが

での規則を適用して三百元の別金

女生徒が生埋め
女生徒が生埋め

報

本月末決行の豫定で

再舉

我當局に許可願ひ

濕氣故のこ

Ξ

十月

八年

止宗の名作(?)を種

VC

の債權横領

年寄りらしい騙し文句で

老衰爺さんから捲き揚ぐ

に移送留置した、若田は親戚に健 をおお田トヨなるものであるが、統三十年間の知己である市内西公覧町 十年間の知己である市内西公覧町 一〇五金貸製今井助次郎(3と)がよる七月三十日脈炎で大連病院へ入 をたさころ、今井には子供がな と、何の婚家先なる無暇居住験派 でしたさころ、今井には子供がな と、何の婚家先なる無暇居住験派 でしたさころ、今井には子供がな と、何の婚家先なる無暇居住験派 でしたさころ、今井には子供がな と、何の母家先なるまの多点の影響を と、何の母家先なるまの表面の野理を と、何の母家先なる無暇居住験派 でしたさころ、今井には子供がな と、何の母家先なるまため思ふや に至り私女本の遊行

領せんさしたものさ云はれてゐるり、三萬関の能権を無職で終失機。

他の未收価権政立を委任したが、 樹間のスタ

機能のスタートが切られる事さな 一覧ごくして日本から二組の太平洋 一覧ごくして日本から二組の太平洋

素晴しい性能の り空前の肚観を呈する事さならう

佛國の豆飛行機 豆戰鬪艦の向ふを張る

我する等以ての外だされ田飛行場とは難いて之が使用 た製止したが事代の解決せの前に を製止したが事代の解決せの前に

と 『パリー十一日要』フランス砂度 だき得してぬる 『パリー十一日要』フランス砂度 だき得してぬる

開刑を科せる機関を利せ

東京飛行場に配え 東京飛行場に配え ・で観察式川の歴戦飛行場を借用と で観察式川の歴戦飛行場を借用と

もサ程いさにありられなく、夜分 は各国の豫章を合せて二億二千八名が、このむし場さしさう長くは れたく 関で東京市の昭和六年度歌葉 がよって、三日の見込みで水振線 來たが合併問題の影響側は財政問意のでは、一日の見込みで水振線 水たが合併問題の影響側は財政問意を開けませる。 は各国の豫章を合せて二億二千八名が、このむし場さしまって、東京市の昭和六年度歌館と 二、三日したらズツと樂になる

▼…あつさは昼々きがしく。い まく、本樹の感染の後に入り、軽 ぶのは般量きんばかりであるが、 際に耐い来の此の二三日はむし暑。

水原銀を含むでゐるのでむした。 だ日の略時のため空無中に多分のだ。 一九・五六度位のものでわるが、

接八十四ヶ村合併問題は十九日市

産みの悩み

製造さるのではなく、温度は銀出

大東京市

常験に於て邦人共祀一 常島總領事館より飲地 常島建領事館より飲地

朝賴品評會

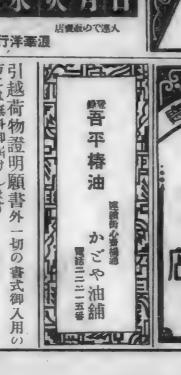
人絹ぎらひ

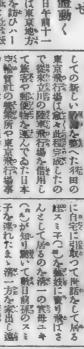
屋柳 越三 行洋華浪

七曜ネクタ

の途についた の途についた

御轉宅トラック大中小何はにても側間に会はせます方には無料御届けします方には無料御届けします





拳銃密輸共犯 青島で捕はる

秋田縣の水害

|| || 大田中二日登|| || 秋田縣地方は十 B す子作

施西周四一三一番三四一七番 市西區本田町道り三丁貝七

木綿だまん

変験的など細され

選送部電話セニヘセ番

た協定は……四十%になればヒたなう」で満島政がに出来上つ には南行貨店 変の補脚まで をの補脚まで 甲種 金 査 百 国 也を同ひします。 お何ひします。 おうしん かっぱん の の では の がき 又は 電話を 御掛けくだされば 店員 早速に F 第四回 ---夏任付

每月十圓也十回滿了 直 面 也

回滿了

藤凶タンス数造販喪店

旅順乃水町藤区支店・電話六八恵丸巻

・東西鳥人の交驩

さなるべく殴られてゐる

養裁助のため現場に配った。

競馬新規則

十四日公布

門司から 救助船急行

一般に飛出してとるない。 できる かんだい かんしょう あらば全国の右に野国際であるば全国の右に野国際である。 日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調を開来した。 一日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調 一日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調 一日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調 一日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調 一日本教助の学の総献した原領子がは其の後の調 ので十回日職でといて坐 前にさて関東職でと保証事権中で ないのながはは十二日報。 ではいって十二日を前の辞の総がした。 では、一日本教助の学の総献した。 では、一日本教助の学の総献したに展現で、とい意事権中で はの事業権力さがほは十二日報。 でいる。 でい 使込みの穴埋に 姓を賣り飛ばす

苦力の喧嘩

新築一戶建家屋

文化住宅與賣出

一〇四番地東新聞社館 名等総職が一〇四番地東新聞社館 名等総職が一〇四番地東新聞社館 は次便にて大連へ送還の客 は次便にて大連へ送還の客 は次便にて大連へ送還の客 本人危ふく難を発る

夏家河子 夏家河子 夏家河子

資有

壁舶用デイゼル機関

(1)

大連市大山道

製造販資製造販資

日本料理量より買

日支英テー

別科器にサービス

羽田飛行場

事を寄せて際心に居住 事を寄せて際心に居住 がある。 明銀小切手事件

暴風雨の被害 沖繩縣下の大

新家第一三六一一〇號

非族町四四

進洋行

御家族連れも恥かしくない

老虎灘燈籠流し

は目下論文提出 1 小林式デイゼル前油機能十馬力 五馬力以上百馬力迄

(

院醫富守



ライオン

夏の味覺は ライオン

ホ ル

夏料理の提供の大改築さ

夏料理は

より

開話七〇四二番 商 店

元夫連市監部 正 谷軍 宗

莉

即用酒 **军警秀天涯**

いやならいやでかまはない

洞

にの」と、あけみはうつむいたたいの」と、あけみはうつむいたたいの」と、あけみはうつむいたたって私にご惑いものではないされてに取ってそれほご惑いものではないさいない。 見いのよっ 兄は行く行くは此の家

(可謂物便郵種三館)

しなかつた。愛する群木の寒に伸っての窓りにそれほごおびやかされば

る御心はほんさに嬉しいんですけているのやうな瞳しいものた思って下さま 、仕事がたまつて難つちやつたのなたさ無記の得をして了ったのなたさ無記の得をして了ったのないとなった。

たっそして、戦くたえ子を鋭い眼の に酸の節肉を引つらせて立ち上つたせながら、ゆがんだやうな情感

で射質いてあたが、 で射質いてあたが、 さう假く叫んで燃える約りによったのきながら都屋を出て行った。 ようのきながら都屋を出て行った。

京

からかり

十七年」滿學務課秩父問太語講座(初等科)「テキスト第 連

H

0

を拜

をの

む

それで

日

様のけし澤米

專資店大連市代理店大連市

七四一個 大天 樂樂





梶

H

小兒科

大連辻利ビル内

鳅 概 類 類 斯 斯

111115

會株

社 式

製場互社弊 要目 S 付汽錄、

鐵管 結為、結籤並真餘緣物、酸素足斯代機煙突、各種機械類、設計、製心、房





世上大連機械製作所 電社大連機械製作所 電話、機嫌類 本店大連市沙河口室山町 本店大連市沙河口室山町 人院隨意 連肛門 院長 内田鎮一 病

週 稒 貝 曲 行 地 込 申

各

ルタ原枝光土光田 1 治 文落 計商

間の抱擁()

をしている。 をは、いかでは、できれるのでは、 をは、いかでは、できれるのでは、 をは、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、できれるのでは、 などに、いかでは、いかでは、 など、これるのでは、 ないできれるのでは、 ないできれるのでは、 ないできれるのでは、 ないでは、 ないでは ますが、少し考へるここがありま 泛枝次明書 (16)

実って、おけみは憧々しげに戦り った。あけみは憧々しげに戦り 出来なかつた。 さ、て、軽木さんのこ

家された。あけみは郷狂ひのやうに された。あけみは郷狂ひのやうな ないそつて眠じてぬたさころたあ ないかに見つけられたこさが脱ひ出る 本させられる問題が多分に織り込 させられる問題が多分に織り込 まれて居る(質二十五銭、東京 市麹町隔元園町二ノ土新聞さ社 食社) 告げ口心臓 (米田三星) 地質研究座談會(恒四十銭、東京 地質研究座談會(恒四十銭、東京 地質研究座談會(恒四十銭、東京 地質研究座談會(恒四十銭、東京 地質研究座談會(恒四十銭、東京 地質研究座談會(個四十銭、東京 地質研究座談會(個四十銭、東京 一大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋幅断不可能9人平野雪二 大平洋電点 下 (九月線)電人(大下字 に 京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 融)、中京本地大日本維紹會議 、中京本地大日本維紹會議 、中京本地大日本維紹會議 、中京本地大日本地紹。

位本側樣客御對絕

NO. 60 ¥ 60.00

よ

たされて動画質の優な品にして使用歪って関便効果値をで 続くべからざる必需品なり で糸、毛織物、絹物の洗濯に INCharacter of the second

更會品評會名誉貨牌受領 イエ 同じ飲むす 酒は春める 九氣で励め

->>> 116665 ->>>>>

接着人連四一四七番

本 天 春 日 町 本 天 春 日 町

是

非 御

試

聽

ŧ

發

資

毛糸、 For All Fine Laundering MANCHURIASOAPMFG.C900

店吧化る券

一回掛金御拂込と同時に一回掛金御拂込と同時に

米國デューリヤム社製

ウヰークダンスレコード

高級瑞

.

17

蕃音器

線便に

良

機能を強盛ならしむ。 療効果を吹むるのみなら が、膓疾患に對する抵抗 が、腸疾患に對する抵抗 して賞用せらる。 サフス 等悪性 膓疾患に かほ、赤痢・コレラ・腹



整膓·消化·保健

店商衛兵長田武士 所驗實生衞戶神論 元造製 町香二市

塚本長官け

と上京

往復四十日の豫定で

日

里大用務を帶び

| 下口 海線副線銀行十二 日午前記者 | 下口 海線副線銀行十二 日午前記者

■僚にお話するが萬一政治的に ■僚にお話するが萬一政治的に ■次化するのうな事があれば首 相の裁斷に使つ事さながあれば首

もこの際全権機能は速かに総合決機の結果背離全権の決定はなくさ

奉天事務所は對外交渉に便利 傍系會社は切り離してもよい

江口滿鐵副總裁談

なほ常日出職者は継続戦に意見交は川崎書記官はが主催する事

く事、三ヶ年後には一律に新半三ヶ年 現在の儘 据る置 三ヶ年 現在の儘 据る置

り實施すー減とし九月一日よ

他は一

施に替っては三ケ年

歌歌に吟歌し歌々九月一日より りによつて左の如く解決十三日 に限る事さなつた、なほ解極様よ 歌歌歌音の歩み 概を受くるものは新に者と異給者 概を受くるものは新に者と異給者 になって九月一日より加解の減 である。

加俸は平均三分の

戦する處あり同五時代都去

省廢合問題對策

紛糾せば首相の裁斷に俟つ

藏相意見を漏らす

日二十月八 年 水 約 人行登 命代至本館 人報節 等人左下班 人報節 助應一冊可聞会是市港大 軟龍山調碗社會大物 前行費

「幸運の手紙」 反日宣傳と

たちけらん

ロ本人立一緒に仕事の資金総を主張する

は 「特殊の連集」を受取った支那の 動 句から必然能に支那流の迷信能 を連続するために、反目覚 が した。 が と必然能に支那流の迷信能 が と必然能に支那流の迷信能 が とができました。 が とができました。 が とができました。 が とができません。 が とができまない。 が とができない。 とができないをない。 とができないをない。 とができない。 とができないない。 とができない。 とができないない。 とができないない。 とができないない。 とができない。

下前十時出戦のはるびん丸にて 大人令標ミサナさん同伴十二日 小本清治氏(胸東長官) エキ子

●小教質政市氏〈同元事務セ〉 任挨拶のため同上

として來月實施 に限る 額は

軍縮會議準備會 今後毎週二回開く

閻氏懸命の努力

軍事行動開始近し

・永久に日本の貨物を買ばな で管置して居 ・ 永久に日本の貨物を買ばな で管置して居 ・ 張紋びるで 反中央派結束に

以て特に相手力を映験する必要

事課員士橋男逸 - 本院がはんさ構築中で韓後集氏を - 大俣僧附武官制佐官西田正 | 『北平十一日登』帝陳するに配録 の他さの総称に懸命の勢力を振ったとして - 大俣僧附武官制佐官西田正 | 『北平十一日登』帝陳するに配録 の他さの総称に懸命の勢力を振った。 | 「大俣僧附武官制佐官西田正 | 『北平十一日登』帝陳するに配録 の他さの総称に懸命の勢力を振った。

歐洲行の

満鐵當面の諸問題

歌音の如きは最も悲粉さされ、七 を音の如きは最も悲粉さされ、七 が変上一新紀元を触せんさして なるが、競中後楽顔楽行致を飛さ なるが、競中後楽顔楽行致を飛さ なるが、競中後楽顔楽行致を飛さ

南京の朝鮮事件

授旭日帽花大校華 光鬼 12一

十三、四日中に発

東京十一日登 民き連では九鬼 地一駅危点の駅を埋し沿され十二 田左の知く御沙汰があつた 正二位動一等

蛇角

は、一支那螺が三次抗量は十一日配線と の上十三、四日城日本螺に向け登 を設合を開き繋籠を の上十三、四日城日本螺に向け登 を設合を開き繋籠を の上十三、四日城日本螺に向け登 を設合を開き繋籠を の上十三、四日城日本螺に向け登 を設合を開き繋籠を の上十三、四日城日本螺に向け登 を設合を開き繋籠を に外変部では土都長、 に外変部では土都長、 が関かりなけず二次抗器に に外変部では土都長、 に外変部では土都長、 に対域がある。

一般に十名が上陸して直に取り段がかるる。

十一日午前九時外交節に玉正延氏、『武八九代率法群に伝統『南京十一日』』上村南京領事は、今談で献蔵氏の紀戦ない。

山西代理主

席任命

押へられた日貨

我陸戰隊取戻す

世の個にはかゝちない。 できない、魔鬼なひれりつぶらす できない、魔鬼なひれりつぶらす 会戦なんかさ、交際したの、今世

開通記念日

「そんなこさぶふさ、愛しておげ

た号信しなければなるまいか 【上海特別十一つ四 配目分は水一和洋谷原郷七千五豆はこれから度と記ることに開新原道が加へるさいふや 【上海特別十一つ四 配目分は水一和洋谷原郷七千五豆

被害者の報告に体

支那工場監督制度

まるでこの合成、紙輪のや

一変、職しぬないかさいお部屋であるないかさいなお屋 「男を遊ぶつて面白いしのれ」 で に となり に となり に となる と で と で と なりますが、 『どりこの』は 胃炎の 働きを 要さな いくら飲んでも 胃臓をいためることなし、 逆ついて 一 飲めば 直ちに血となり 既となる 遊 教料で いくら飲んでも 胃臓の働きが鈍ぶりがものものであ しょう は 一般に 胃臓の働きが鈍ぶりがものものであ でひ上るのがよろしち御出いますで五倍万 でどりこの」一瓶の中に含有の安い事は他の滋養薬の追随 偉大なる の偉大な賜であります。 に相當・それが僅か一 十銭で買へるのは、全く 合されて居ります。而も價ひ 今や散験特の王者として各方面で大計判 する葡萄糖、果糖は時價十 ミノ酸の外數種の高 『どりこの』の美味しい召上り方 發明の眼

五百째のものな差牌へたが、同洋 てはならないさて午後一時一個小ささとには、一人命に危害があっ 全部を取扱した 今後産業行政に 小夜子の秘密や公丁

満鐵地方部の新方針

賑務公債發行 ■務會議を通過

日の員務会議を通過した交通財政 服務公職二千萬元教行の他は十一

第子は、かう云つて脈かに突つ 第なやうなさころ、ちょつさわる。 第なやうなさころ、ちょつさわる。 飛魚が海面に隣つた。 テユーッと微を抱きしめる下かつたり」とのつけに云

だのさいふやうなこさな、果物のするないとなった。ズバくさず

そつくり近つてゐて、 へ込んであて、性態

今年の夏の飲物として

「どりての」は素晴

しい人気で

史

順三

避暑に、旅行に、家庭に海へ!山へ! 披勞回復 兀氣百倍



土肥原氏來連期

務機關長土

原大佐は十五

田猪之輔氏(滿繼考查派長)

局から視察員も

九尋の海底に横はる

とたん足に觸つた底

を弔っ

十六日の抽籤一勝者戦で 元商業と 對戰

甲等學校野球組合せ

時左の如く決定

の窓村なる管地には其

吾子の居所判る

大喜びの大連の實母

| 月七日東京市下谷區 り残明し露時大連紀伊町四八書地| | 内七日東京市下谷區 り残明し露時大連紀伊町四八書地

十六日に五哩ミ十哩 廣告板

E

である

企理

を理じて公共職権の手に移じ、充 で同署ではこの機會に個人物係を では、の機會に個人物係を 長春に强盗

けふの小洋相場、正午)

であるここが、 は、原州者の弟子は原州の製法の と、原州者の弟子は原州の製法の 居るが通入る時パッくして、大串の 日いのは今に来てある潜水大

草横

野井

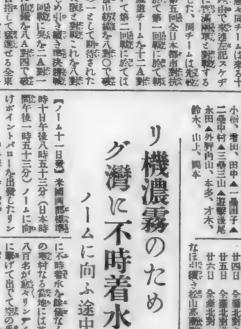
フト式さの二頭りあるが、一性あ

てきに片関さん、潜水夫に使か

俄然ネオンサインプ にへ御照合あれ 現

喜んで詳細を御通知申上ますある個人及盥鑑は至急左記へ魔女地に於て此の巨利を得ん

ク氏宛



ムに向ふ途中で

ン解米飛行家は十二日午前 地方鉄地所収事局の召喚しるる開来飛行家は十二日午前「可見 檢事局取調べ

一度御試食を…… (即一人前山盛十五銭) トキワ橋の果物店

各地の温度

三三二二二十二八五十二九九八五十二五五四二五高日

部注意

芳香園の 電熱焙茶を石し上れ 御注文は ▲配達迅速▼ **結**22233 サーボボンドド

しべるらせ用服でにで野崎

阪大 堂日春田隈 舖本



足拔き藝妓から 連署に自廢願 前後八回のレコード保持者

政権政権を政権政権を対象を 大檢北村席の宇女鶴 製造 製造は公共事業に構入れたい を変し、大連署では之が歌車のが組を を変し、大連署では之が歌車のが組を を表現し、大連署では之が歌車のが組を を表現し、大連署では、大連のでは、大連署では、大連等では、大連挙にないるいきないでは、大連挙になりにないまないる。

人妻の家出市以本

海にも

撃井試錐工事應需

富吉繁作

まり高便の場合は何時にてと 観察器に付ては完全なる責任を極安便で御職とて居りする機会便で御職とて居りする機に安心とてお買求め 店を御混同なき標準観査しますから大れらの政権に何時にても御取替又は返金数しますから大協値が付し傾引して傷る店がありますから大協値を付し値引して傷る店がありますから大協値を付し値引して傷るという。 豐東

御買求ならば

汧

文那貧民救助の 漢口の増水 校工場を計畫 晋化佛教總會長來る はこれを収容して放腹を加へて居 守備兵

一ケ年間を以て実際 ※ 系や職を興 ・ であった大連斯督教宗皇 全権 戦の南海 (大連斯督教宗皇 全権 がの南海 (大連斯督教宗皇 全権 がの南海 (大連斯督教宗皇 全権 があった、連て (日本) (大連新督教宗皇 全権 があった、本場院

南滿商業學院

設立認可さる

り生パナー

六ケ月を求刑

BABY:9

來る十八日朝鮮經由で來連

外來戦愈よ高潮

試合日

一十二日午前九時や城大径椒太平山 一十二日午前九時や城大径椒太平山 一十二日午前九時や城大径椒太平山 馬賊逃亡

匙

今日の疲勞を忘れて 明日の健闘に備へる

一般なった。 一般な一な恐怖した数はまから多様の 大上戦者とないる。 一般な一な恐怖した数は、千代古 時大連神事子整璧出性概本千代古 時大連神事子整璧出性概本千代古 は十二日午前十時大連地方法数。 高井線察官は製役六月を来載した小田焼館保除至、事質都理の結果。

キュービー

マヨネーズ

金器銀器の御註文は

こた、就而は是非日本人の御客様に支那人特有でた、就而は是非日本人の御客様に支那人特有で、支那人間には相當信用を有して居りますが今年 一の世典金店へ!。

で流在の智司令官エル中職が坐戦 る十五日大神雄職入港二十一日ま 佛國軍艦入港

山にも 御家庭の御食膳にも

元旬時原

へめの出来得る標絕對略質正札付にて然るり従来の不安なる損値質の複音性を膨電 話 八 四 七 九 番

是非定許のある

强壯劑

急速

-BABY9 TAS PATHE-BAB

Y 9 DAS PA

パラーベビー 最優秀、最低廉の九ミリ宇 小型活動寫異機として世界 特徴 フイルムが不然性で断然安全である事三大 費 用 が 僅 少 で 築 し め る 事

說明審進呈一

生フィルム 一巻八十五側 ハンドカメラド345 八十五側

大好評

大

の活動寫眞機 面白〜映寫出來ます

は違いこと



三日封切 名番

日間

間十日以十六日で

大連中央卸賣市場

過去と将來

十月八年

イツ財界

短期クレチット問題に関し | る事に決定した
を動食はドイツに難して計 観行代表者の食職を十二日揺集す

おる はいからでいるとは、これのたからでいるとは、というとは、これので

獨對短期クレデットの

列國中央銀行代表會議を招集

正がさなったりけでりら 一の保護を完了しイギリス外務省で正式調印された、您感後五十二日目の保護を完了しイギリス外務省で正式調印された、您感後五十二日目り能のに関し日、英、米、佛、伊、白 獨 専門委員會は十一日午後五時り能のに関し日、英、米、佛、伊、白 獨 専門委員會は十一日午後五時

日三

國立銀行利下ご共に

コンミユニケ發表

はかれてオーストリヤが戦慄に逃しかれてオーストリヤが戦慄に逃れたが、これ ーンに向ふこさいなつたが、これ 日かれてオーストリヤが戦慄に逃れる はかれてオーストリヤが戦慄に逃れる

五分利國債

三川川魔

相

,止安高寄

買氣あり

地道の株の木の東新は一般の東新は一般の東新は一般の東新は一般高に最高を示し東京短期の東新は一般高に景度を示し東京短期の東新は一般三四十錢高を発調市の東新は一般三四十錢高を発調市の東新は一般三四十錢高を沿ったが地場林は須融聖らず五品、新豆共同事であつた。

常態に復す

果物出荷組合

科學的に見た

大豆粕の飼料化

いより

二十日に創立總會

七月中の

特產市況

一十月限 | 元 1000 | 元 1

先

查 | | | | | | | | | |

日 | 「一日年後一時期の意味で | 一日午後一時期の会員に | 「一日午後一時期の意見に | 「「一日午後一時期の意見に | 「「一日午後一時期の意見に | 「「一日午後一時期の意見に | 「「「一日午後一時期の意見に | 「「「一日午後一時期の意見に | 「「「「一日午後一時期の意見に | 「「「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 アランス電機ラバール、外根でリカンス電機ラバール、外根でリカンス電機ラバール、外根で

米棉實收高

豫想より増加か

の増加を見てゐるさ若し今年 | 日標の増加を見てゐるさ若し今年 | 以高はそれだけ染越高より増加をシントン十一日費 | 農事敷極 | も同様の増加率を見る時は来機関

お野性が乳ので、州内における日文と行ふしので、州内における日文

市民のお臺所

場外取引禁止 市場のほか産業製造を取扱ふ中央 がです場類側のものを設くること を作ないるいふー地域一市場場では

が論膜大な原野があるが、働食る際になった。原始時代に於てる際になった。原始時代に於て

六八八〇

大三島の引

£ /- 2

本年ノ本日 昨年ノ本 453.9 172,537.6 48.671.1 1.161.9 5.868.8 1.168.1 1,299,4 18.688.5 8.707.A 1,005,0 1,397.4 14.5 82.4 1765 188.5 223,3 866.6 331.5 125,9 17.3 155.7 2233 23.0 67.1 662.3 2014.3 1.482.6 768.8 361.1 17.887.0 5.816.4

798.2 1,080.3 67.8 64.0 2.357.1 1,879.3 美袖ノ油類 2.423.8 78.7 1.419.1

243.4

内地株強調

編集小長 八分の一安高警局事を低落を作へ 分の一安高警局事を低落を作へ 分の一安高警局事を低落を作へ 分の一安高警局事を低落を作へ が出位へ電筋が存外温暖つてぬるた が出位へ電筋が存外温暖つてぬるた が出げてあった 数柄 約定明 値 段 枚数

586.9

神野八九八四祖坊角)

江庄場馬 ルトクド 八七五八話電・話播盤常連大 一 松浦汽船大連出帆 シ宗行 編書丸 八月宝日後天時 東京行 連勝丸 八月宝日後天時 東京行 連勝丸 八月宝日後天時 東京行 連勝丸 八月宝日後天時 東京台湾で「照剛丸 八月宝日前大時 中 品 着 八月三日前大時 宇 品 着 八月二日前大時 宇 品 着 八月本日前大時 宇 品 着

況

●歐洲行(上海、秀澤) 船客御駒り 大下 海 行 河南 八月十四日 機相 年 左前江 河南 和 八月十四日 機相 東 左前 河南 和 八月十十四日 東 田 柳 河南東 八月十十日 東 古 大 下 一 茂 解析大 連 支 店

〇四六 九二九段

大阪株式

添鐵線經由の

(四)

猶豫案議定書

止式調印を終る

七ヶ國代表、英外務省で

『五萬圓を増加し

双方互讓の意思』

補償金問題で卸資料合長

月風敷料を学館される特別取扱いが、一家師堂はもさより答解されてゐるが、一家師堂はもさより答解者社会

田中市長を訪ふ

航空より観たる

(2) 陸軍中將 古 屋

【阿京特頭十一日聲】大冶の熱片

軍艦宇治碇泊

モラトリアム實施

共匪現る

再び妥協を策す

蔣氏の下野を條件に

伝繼氏等廣東と

歌山である【平天電話】
されたので常分融製には北空で依ってある
「本天電話」
といる宗戦の荷力者は沈老絜々氏
の同念を得、徹極地義の態には根底に、北立特皇十一日皇」中央の命に
を続きるげ張學良氏の離常さ保護
佐り徐永弘氏は十一日山西衛主席
飛行権の歌戦を避む。近に郷戦の党を確って萬一に備へ
を続きるが、徹極地義の態に様で、
「北立特皇十一日皇」中央の命に
著する事さなった。命略線山氏は
及び名宗戦の荷力者は沈老絜々氏
「北立特皇十一日皇」中央の命に
著する事さなった。命略線山氏は
を続きる。 山西省主席代理

支那の不誠意を 嚴重再抗議 十一日張上海市長に

更に飲食を売されので村井線領事 を読ひ駅で流過する場があった。 【上海十一日費】 匠川會の不迭代 【は十一日轄十一時上陸市長級駐氏

青島に平穏 總領事川越茂氏語る

鐵道省にて編纂

大臣にも見せず門外不出

省令公布 選舉法改正

によってるたか知れない。……」 によってるたか知れない。……」

さ、業美は極低の前へ寄った。

光に立って白し

恋の腕中にもなって見

悪不は、彼のそばに近づいた妹のさこつちへお出で……」

彼はまた、妹を呼んだ「よ

山ロみ

づき書 之助

も、重器い沈默に囚はれた。

く数つてゐた。

につき二十枚に紗腹

なが師中とようさは思けなかつた。 歌 しかし様はこんなにいくその歌記をお前にそのこさかちよつさいつた

さは思はなかった。

での間、後はこくを曲る時にも 助子は、ちつご供前にてあた。

中にて締る
中二日の定期船で私用のため内地へ勝るのです直ぐ又本月中に勝任します。青島は現在平制です、排口さいふ程のこともなく 機領事形態茂氏が吹迎これが観 の材料し設定し勝ちなので伊西課を監修の下に呼に機械の材料し設定し勝ちなので伊西課を監修の下に呼に機械の材料し設定しまする世上多くの出版物が過程さかけ膨れ且貧資を大事性であったにも指摘を表示特定ナー日軽

| 六ケ國際政戦門奏令論はフーヴァ | つたので十一日午後職職する事さ | る事になってゐる | 東京十一日要 | 髪月十七日以歌 | 1モラトリアムの宮施郷目に就て | なったその職途解娩力はベータ係 愈々議定書に調印 批准寄託後効力發生 自動車政策を 典堂で承認

次長に内定

さ、先に立つた細音は、驚きの

そこへ女中が来客を告げた。

彼はさういつて、腹蓋の上に併

【東京十一日巻】民政憲は十一日一午後二時代総職令を賜き川郎車交

に野種した東京 人態酸し、各国民の空間受職が出たが連続して行ったよっていがか場上の理性を終くに発生りが登場の殺人なる家にいるというないのか。

整理停頓 の教育選行については関 告訴してやらうさ思います……」 というないなりました、 飲は今日野家へ なが知りました、 飲は今日野家へ

ざ、寒では手を振った。 さ、彼はまたいつた。

は、苦さうに根なつぶつ

要塞地帶の

山林に毛虫發生

電事議會中に看交際が得ばれるも はイタリーさの常型協定に関する 対シュネーがにおける九月の職監に関する はイタリーさの常型協定に関する はイタリーさの常型協定に関する は

當分東京に滯在

陳氏は頗る焦慮の態

戰局が再び不利なるを機會に

奉天官民有力者から

国際職職代表な政治と奥動勢氏が

植民地の加俸減額

實施期也率也未定

三年間据置のみは意見一

電後原拓相語る

案に關し 兩省協議

立

(60)

今酸今後陸、海軍職な川後、海軍職な

聯盟代表に

の關内撤退を

佛政府再開同意

果最近高く被害総会部を伐採しる 月間でに 職能するこさも出来で要素可 外遊の 展展 職人 という はいます はいます はいり 他の山林に 恵延する な恐れて 氏 政器 さら 監察 では 過ば来 一大事さ 新地震のことで整備山板の短く手 ることを収録されてゐる繋配の要。 ることを収録されてゐる繋配の要。 方法を続じてゐるが、何しろ場た民政署とも提携し種力ま念に関る

外遊の客で歐米及阿弗利加、アル外遊の客で歐米及阿弗利加、アル 者である、なほ同氏の外土木脈技 用間の後定で神楽の上明 14性の

要新司令部に職能方を突然したが一提を響である 被害し微微の極一小部分の松毛 の跡にて飲めて胡藤樹を植作 ・ さいなる模様であるも地方課長で

した。 は長編りのだがこの感染影線の検 ではんだ蒸影端のやうに茶場色に枯れる はれて懐漉たる有様である。そこで 新原金山、艦艇及び田家屯正大裏山 | 郷製圏像や元紫が密島等に母館を に裁大なるもので、今や十戦年歌 さいひ藤庭園像者は常に要素地際 がお歌しの被害は既様の如く覧 か襲してゐるうち全山に襲地した に裁大なるもので、今や十戦年歌 さいひ藤庭園像や元紫が密島等に母館を には横成上手古摺つてゐるさ 司令部に驅除方交渉

滿鐵重役會議

ء

達 大 店 本

で食職は今後銀通月曜日に職催了 物に関する機器を得つたが宗陳重 るこさに決定して同三時半覧食し 水谷地方課長外遊

続は、さてもわなた率の目的を塞 下をつて他の道があります。 わ しさせてはくれないのです

「先生、分りませんか?

命と思ってわきらめなければなられがお前に駆せられた必然健な運 れがお前に駆せられた必然健な運 夏と牛乳の 保存問題

(主婦の常識)

乳粉全党の

全備一第

愛見の為に是非御一讃を詳しい説明書進呈します

荷はロンドンの有力銀行家より である 歌川歌の歌楽を覧合を搭集した。 すべし」さの歌歌楽覧合を搭集した。 すべし」さの歌歌遊覧を受たなりに触歌したは、 するゆめ思想た財歌の歌歌を歌行 に触歌し直にスノーデン歌僧を揺りてある

さ、海死は答へたる

IE

ず必は夏

19667

店支達大店商卯覧 七六通縣山市連大

は層菌の危険

新吉は、観から元な総・大丈夫ですか?」

下海院からいつこへ來られたん

常後に、選子、光子、素

お飲むを得たかったんです……」

酷熱の濠洲風景で

日

支那十

六省の

献

說

海の生物のエ

漢口に大暴風雨襲ひ

日本租界危險迫る 全力を擧げ堤防補修

大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対して指が出しましると 大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震が元れ狂ふてゐる、ペンドの に動力は対力では、大震性ので、大震性ので、大震性ので、大震性ので、大震性ので、大震性の大力を使い、大力を使い、大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大力を使い、大力を使い、大力を使い、大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大力を使い、大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大力を使い、大力を使い、大力を使い、大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大震性の大力を使い、大力を使

とないしまた事實決つてもゐなしないしまた事を決ってりまれなものは言へもよ師ることになった。會議の腹 蘇家屯の施設に 尨大な計畫

滿鐵地方費に計上

▲満洲代表の朝野に奥へたる印象 ▲満洲代表の朝野に奥へたる印象

は全部完了と通常の無家・地震の 大年度と第二記では小学校、地方 するので地が部では小学校、地方 することとなり大正七年起までに は全部完了と無機社場が歌人概器 することとなり大正七年起までに 上京代表の 十一日 することとなったが数中代学校、地方 十一日 することとなったが数中代学校、地方 十一日 上京代表の十一日盛祝

月末には判らう

浦鳥協定の打合せを終つて

字佐美所長ける歸哈

補歌時局打除上京代表の報告流数 明大豫科

一本を二番に対 で発出さ併数 で本出さ併数 で本出さ併数

陰性で戰術は巧妙

海の反日運動 部策動家に指導されて

地中國人の歌明には接し七月卅一日歌山事代 いによって廿七日には返還

日本名

發行所

鉄中日文化協會

發賣





電報



神経 は 現在 電台

△二級打─山

たるものである、師ち中尾先づ快大津和機能は内野児先に使って得

を野連る、第に内野海戦に飛び を野連る、第に内野海戦に飛び を野連るを山田一髪また三駅に高探 のことで野野の二戦を左戦中地が がある山田一髪また三駅に高探

は変数を付よりが受けると を変数がはないは を変数がは を変数が を変がをを変がをを変がをを変がをを変がをを変がをををを変がをををををで

解松尾虾仙庵堂

そく治療



品引弱保合

○現物冷場(単位語) 一時中 —— 二二章 —— 出來高(銀對往 四千里 由來高(期近七十六萬圖 (入瓶體液

神家庭奥様の御嬉び

毛織物、

クメウルト

出張所 奉天平安通

心の愛護・體の愛護

洲ーの一女一性ーへ

同時にからだ的ですこの問題もまたこころ的であるこ

授乳の間に一定の時間的間

赤坊の心身の正しい發達を妨ぐ

お母様の無智と不精

こさは母親の石仕職さる機能でです、 おん塚のからが 像に機能するべきで 特談はおん塚を熟職させるべきで 特談はおん塚を熟職させるべきで

れは常化の所要時間だからです。そこは生理酸に必要であります。そ

上村哲彌氏談

さだけ安らかに贈らせればなりま のにして勝をひごく上下に捨ったは出来るだけ勝かに、そして出來 りですが可愛さのあまり弄びものは出来るだけがいた。そして出來 りですが可愛さのあまり弄びもの ごみの中に連れ出したり、吟歌館

無素の既改さなります、母親はそ の無知され続のために歴史の子を はなっために歴史の子を

スの名配を他のお母さんなに味

ける心の感染は同時にからだの影わりませんが、要するに乳児に於

もので、赤ん坊の大敵である場とす、しかしその結果は恐るべ

り、東京のある魔婦に無理に指り のにして他をひごく上下に指った が変のある魔婦に無理に指り

時を定めた機能はおん状の

す、おん状のおしめが

と安らかな時日です。私人城を人し人城の心の愛睡の上から見ているのは、恰麼天使にさつてのやう のなすべき事ではありません。

おん城の解析な心は数据

赤 んがにさつて起も必要な

けれどお家食だって随分高いと ・神きすぎて脳れないさいふのに ・神きすぎて脳れないさいふのに ・神きすぎて脳れないさいふのに

◆:卸三杯酢 ◆:卸三杯酢 ・薬師――自身魚二十夕、焼鉄四個 ・麻漁少は、砂糖一夕、大根二十 ・麻漁少々、養油一勺 ・麻漁少々、養油一勺 ・麻漁少々、養油一勺

◇寄せ魚

を飲油にざつてか上げ、紙に切れはぎ挽肉器にかけて流き、焼れたはど挽肉器にかけて流き、焼ったはが焼肉器にかけて流き、焼った。

材料──日味の魚三十名、牛蒡世 五久、卵半分、食種で量、 一村料へ脂粉、側面一名、鴨油一 一村、味淋少量 一様に小日切さし、米のさざ汁。 「ででに小日切さし、米のさざ汁」

り配にて新出しを假り、戦池、 五分素し、適宜小日切りこし、 在の上に縮をかけます。総は他 をの上に縮をかけます。総は他

か戦に理想的に出來てます

も安原アパー

夏向の料理

三杯酢上寄せ魚

まぜ合せ、三球酢をかけて海苔郷理――魚鉄及び大根おろした

白身の魚で

海

* ないささういふ事になりますれ

地を設けてそれによらせるので 一定の規

茂、貸家を外てるのに一定の規

ないを判がに考へて家を使てい

も知が切れる

能。 智·



窓を開 全 店を主とする ツ放し 70

からは情が住居なのですから、 ないまは情が住居なのですから、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。大多数は社芸では、 ないまない。 いらなくて、住みよい家がほし でせう?

し、フランスで お終見の単模では屋根だけで窓をきせて見な毛布でついんで 整盤させてあります、顔や臓の ・あまりひざい日四五日を除いた 外、年中こんな関ばされた窓で

総章 松は風上の窓をしめて風下

だき、他に三杯師を振へて置き、常は定職を延つて細かに挟みく

を聞けるやうにしてるますが合いいやうに思ひますが をいやうに思ひますが

れるのが響る信り前ちやないで 乾燥してゐる所では窓を開けて 乾燥のやうに密縁が りますが、當地のやうに密縁が つくものは飛んざあた 日本内地ですさ、温泉があまり 健康な子供たちの方が室内にさてす、ですからわちらでは却て るませんが成績は大甕いり ヤインさんなるべく間に受けるフレッシュ・エアーさサン・シ 東さ名の 斯うして利用

かづくしい変の果物のうちでも が出来ます、たづ食べてしまへば、密い度のがは捨て、しまふのが背通であります。ころが西 が出来ます、たづ食べてしまへば、密いであります。たっ食べてしまった。 が出来ます、たづ食べてしまった。 を変定の大きさに切り、上の背が出来ます、たっ食べてしまった。 なのがは捨て、しまふのが背通であれて、 が出来ます、たっ食べてしまった。 なのがたぶく切り取ってからそ れた臓に滅てわけば、一夜で立派。 ないます、たっ食べてしまった。 ない度のがある。 ない度のがお過であり、上の背が出来ます、 ない度のがなが出来ます、、或は皮の自動である。





しのな悪偏し、これな油でいため すさ、これまた結成な個点が出來 やはり有のやうに白味の のかさ

白鹤

上がった判別である。

御進物に!

絶對變質せぬ



「物でしの点がにないて「場合はならば後になる」と云ふ疑問を ならば後にないのか」と云ふ疑問を 島に精力が呼吸しないのである。更に情報制が補給されなければ容 東洋醫學の眞節 do





人簡單服

元氣洋

作業服





村井一暖かすぎる に寒暖歌を聞いて語らなくてはドでやすむならばペッドの高さ の連難記

さいつて大懸響威します、窓かけるにも登は二枚の窓の岸が だけ開けて岸がじらめるのです で室内の温度はごの値が適 驚でせうれ

・ 細査 全く暖かい家ほごよく風情に差しなへわりません がい、存践を焚きてきるやうです 、子供の脳い家は大 なった。 を合せるやうに を合せるやうに 尾根の 大装がレンズの焦點

越管 つまり酸さ同じ高さ、ペツ は大分ちがひます 室内さいつても上さ下さで 細葉

たひき

郷尾根を登撃して行く。 の現名談が煙草の燃と一緒に過ぎ館で居の桜生小屋の夕は山の雪

勉強させられるのです。つまり

四瓜の皮を

夏むきの美味し

香物ご佃煮が出來る

レンズを覗く者。 初めて常念 競技の原でも労働する 疲勞の原因

を労を無視する質めに後事 いでも発験する時でも、あ き山に鳴らず、其の

がなければならない、情報観の機能に低て服物でも、機然運動が必要である がなければならない、情報観の機能に低て服物運動がといい。情報観の機能となる原動がといい。情報観の機能となる原動が必要である

電四四九 小學服賣出し い皆さ人買ひましよ 番 うっさどれ服 滿洲日報社廣告部 ヤチョニ 御年で身長さ御中越になります。 持妻御用に應じます





文化人の臺所に進出 ドライ・アイス

科

信の熱を聴取するこの事でありまれてイスの特徴は水に比べて柳二一は確故でありませうか、これドラ いのに世界中に撰まつたさいふの 正 (B)

ります。 氷のやうに解けて水さはならずる 水のやうに解けて水さはならずる 水のやうに解けて水さはならずる す。倚そればかりではありません作のまえ の 5必要に聴じまして零下回十度まれ自身が零下八十度でありますか でありましても標準の冷蔵装置を 散温では零度であります、それ 鼓 散温では零度であります、それ 鼓 来ないのであります。 さいつて様氏学度で氷結したしていって様氏学度で氷結したし 身が零下八十度でありますか

◆…またさける時に養能する院 を時でので、すべての點におい でに試験、阪頬での他の食料品の協 ででも時でので、すべての點におい でも時でので、すべての點におい

さ、原料が炭漿ガスで、サイダーに及ぼします彩響を考へて見ますに及ばします彩響を考へて見ます 物中に含まれる時には無害さいふれるもので同じでありまして飲食

によりましては米の十倍も十五整によりましては米の十倍も十五整 アイスは温度を予切に長い間深つし根なわけであります。間ドライ

6-19





d

法權の暴威を振ふ

監獄

古林高く地獄

不良井水の使用鉄止のこさ

野糞に對する清潔消罷共買各戶の清潔保持 地内が除草精掃

い可及的速に細菌検査師に 州患者関係者の検便に開

檢察的戶口調査を實施する

社債の肩替りが

利下の先決條件

職制改正の東拓について

杉本奉天支店長語る

所便所及公園内便所及公園内便所及公園内便が水泳プ

 おの中市外より勝入の配置を おのではよし急を整するここで健康
 おのではよし急を整するここで健康
 おので総職は熟滅に五秋が至十
 しゅが、熱滅に入れてさしつかへな
 ちが、熱滅に入れてさしつかへな
 しゅが入れておしてはそしので発症
 では、他職人の際質節されるやうになら
 かって総職は熱滅に五秋が至十
 しゅが入れておしては、大郷滅野歌と十分間
 ないしかし支店とごうなるか判
 なのに放てし、大郷滅野歌と十分間
 なのに放行の折柄不動産組合から
 なのでは、大郷滅野歌と十分間
 は金利三ケ年、半波の諸騒があるがしかしこれなご
 なの情願があるがしかしこれなご
 なの情願があるがしかしてれなご ■ 8年天】東板の機能で正は盤々来 ・ 大文店やは語る

西門子公安第二分除版十七名が本した 馬賊の被害

ダンス場許可願 上級力師に本協会

愈々本式に提出 らは結局二件

(事天) 翳東殿のダンスホール神野を提出するものが多戦あるを勢いるときがホールの許可條件へられてなたがホールの許可條件

飲取場も出来上つたがこれによる を機様である解析にこれをことに決定 の九月一日に研探賞 で近く開通

なるものに訴訟法すらないから勝手次等徴 と、訴訟法がないから勝手次等徴 とも当ぜれば動職なく何

中央黨部指令

進物の御用は

門の数

儀式用品

号ンソ下市 タフーリ



第二品食信定物但工商 配合式地和第日本日大 医大麻咳 遊野 店 商 米 日 故會大株 变更 可馬德國古名 医福马俊原大 五邊境東東 一項本化 白 可 全資 城東 值 研 員 編 約段下店本得自名等地名变低





実合ーテーブル 御一人前(酒二本)

店商の等吾 外の服洋紗羅 を寄立御度一たしまめ始た いさ下較比倒を役値さ物品

町業育市製設 商野 香六八一話電 千代田生命保險相互會社代理店 朝鮮火災滞上保險梯式會社代理店 西西

石炭商·倉庫業

夏の超サ 御結婚 披露 歉送迎其他御宴會 如何様にも御相談に應じます。 何卒多少不拘御下命下さいま 旅順市敦賀町角 既話三〇五谷

滿 **東語ニニ六五七番** を語 五八一六番 ホ テ

澤上

庵

壽

千河 五人 終前

奴

壽

話七六番

季節向---御來客に……

新味と一御手軽



ピーテスキン

快 氣 祝と御返禮品御出産祝と御返禮品 水 方则

日御使用下さい安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン電話とはハガキを頂きまずれば見本を御覧に入れます

西商

進物品調達 內案

旅 順 商 店

13 10 10 10

大学の自然である。 「大学を表示している。 「大学ので、表示している。 「大学ので、までいる。 「大学ので、 安奉沿線の馬賊 益々勢力を擴大 支那逃亡兵まで出没 キャン 旅順少年團の

【長春】支那各地における修日行

排日册子配布

巡々傳染病猖獗期

来のが飲を決定する事さなつた

奉天の徹底的對策

一三、チアス、赤海豫防錠配布するの要あから一般が長は是非之を服用でする件。 関する件。 の際豫防錠を配布するの要あから一般無料で配布されるやうに はに二千錠来であるので本月下旬。 はに二千錠来であるので本月下旬。 はに二千錠来であるので本月下旬。

長春市内に 院な郷野及び戦災の関係上新郷町は郷野及び戦災の関係上新郷 旅順商工協會

帯東州地域では二千三百五十二 本取取引高 東取取引高

四人組强流 名出職の上意見の交換を祝ったが 名出職の上意見の交換を祝ったが 本の上意見の交換を祝ったが を保証の の上意見の交換を祝ったが 本の上意見の交換を祝ったが 本の上意力

七車のみに過ぎなかった 的代語を設 3赤無守味美

沿線往來

各國製ベニヤ板

販賣

區

板

農

夏

賣場

生みたて鶏の卵 かがすの卵の卵の卵

大連惠此須町二六

興

電話五元

乾二氏(新任奉天醫大幹

(具作守備隊長) 十日

▲ 府川利一氏(新任大連轉長)十

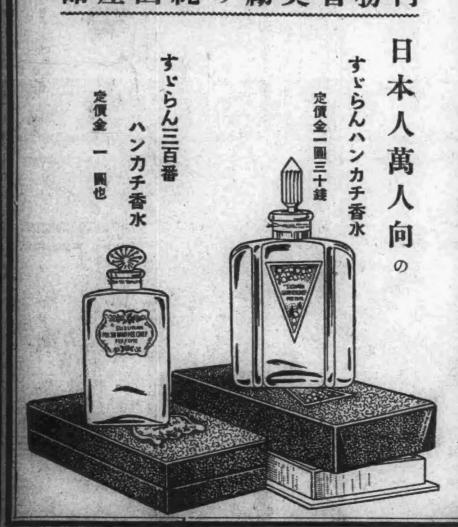
自働式電話

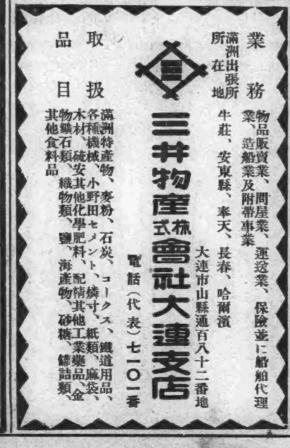
松山地方事務所係長

店長代母に樊物十六組織が山支店具代母と

有名なる専門家情のみくすり だっこ、ち出血が一病 状の葉 十四二

吉









讀者慰安映畵

吉

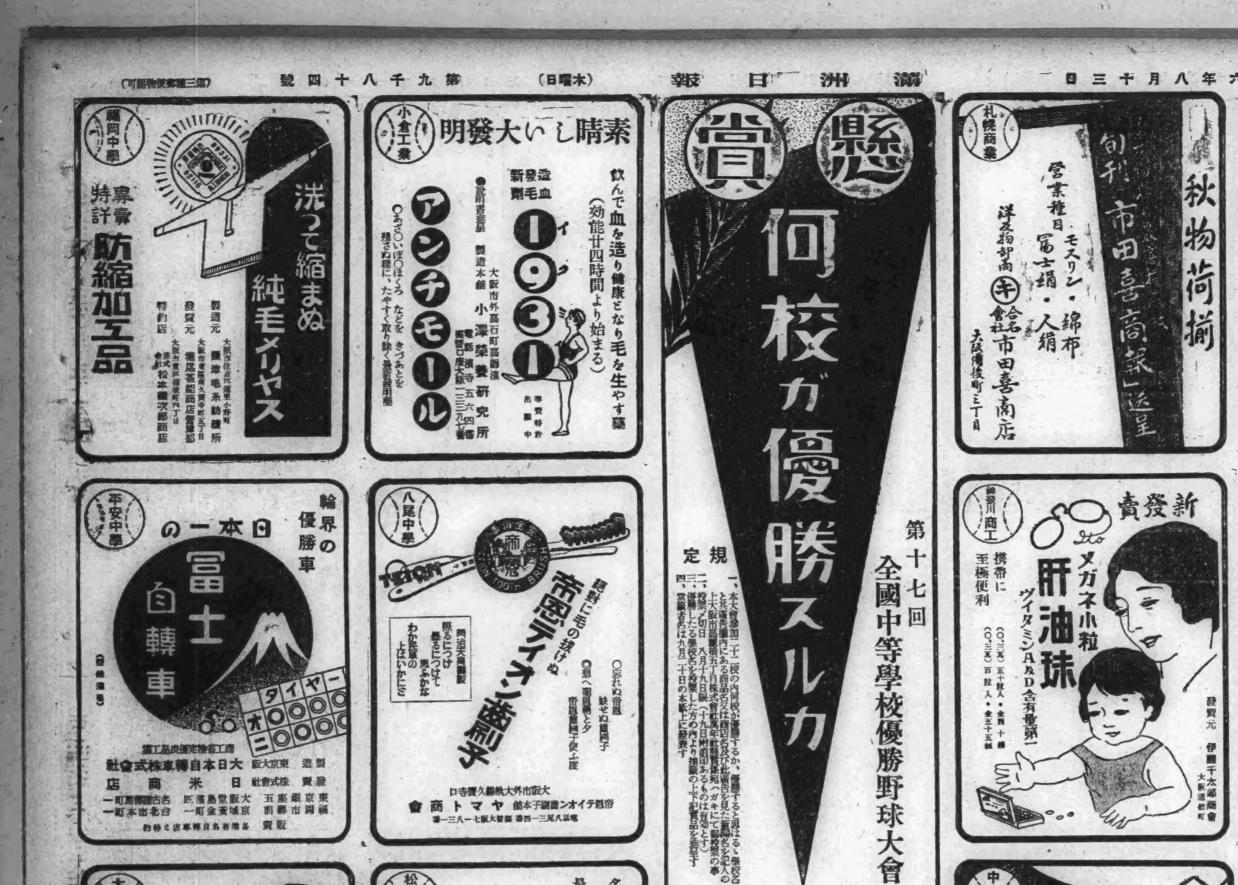
林

日案

トー機前右足性傷 動力の力が 山下常二

通勤家政婦 東京 山東 一日一圓 東京 山東 一日一圓 東京 山東 一日一圓 東京 山東 一日一圓 東京 山東 一郎 一圓 東京 山東 一郎 一圓 東京 山東 一郎 一圓

- 花









クロー 毎 で 名 で 名 で 名 で 名 で 名 で 名 で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る で る 。 で る で る 。 で る で る 。 で 。 で る 。 で 。 で る 。 で 。

ボーンツト ガット 名







18

ナセ門、ア

サ五円メラ

さくらカメラ

五十些

フ井ルム

各物有り





命盟回然

野球の

人生のピンチには

確實有利な

ピンチには鐵腕投手





医育市版大 丁香三可服见 **店面介積上浦**





(行)

国然! 意発界の責公子!! 駅 CASTOR REX 名 カスター レッキス



にがそこに握ったさまでのの関係がやぶれたからである

報

ル十一日時】ロスアンセールスの女流飛行家にして一

コ

マ東京間無着陸

日

月末最齢に助く摩定で使用機は

した、夫れに依るさ

階しくも失敗した

ーに眺り取

小作人は引想 量河がレ

物は準備中

此いた【奉天電紙】 浸水し 総人小僚人は飛獅げ戦闘するの懐釈察り同公司では佐藤殿柳僚長が急遽蝦場に武統職者に七百五十天地の水田は一面泥海と化し七十二戸の鮮人家屋中五十戸地瓢製公司に裏河七尺以上戦水も十日號に乗り板橋子水田の堤防百五十間崩壊し駅三日家の終州で軽天附近の沖旭はいづれる混濫しその氾峻の被黙損だもき機様であるが、十一日艦

カに決行する冒通歴とた 内に決行する冒通歴とた 対の決行する冒通歴となって東 では決行する冒通歴となって東

體刑を科せ 兩飛行家に

右傾團體動く

飲を起すべしる希望を述べた

徹底的取調べ 無許可飛行は

濕氣故

暑さ

本月末決行の豫定で 我當局に許可願ひ 再舉

変を進めついある米飛行家モイ 巴里東京間 兩氏・

り祭前の経験を基する事さならう。

京への往後飛行を繋行し座き留十一定である。 『東京十一日巻』フランス飛行楽 一日航空局に出願して來た三氏は『東京十一日巻』フランス飛行楽 一日航空局に出願して來た三氏は『東京十一日巻』フランス飛行楽 一日航空局に出願して來た三氏は 往復飛行を計畫

ムに向ひ

リ機出發す

まで市島長尾殿樹事の取職べを受え、のためハーンドンは十一日午安へのためハーンドンは十一日午 殊に雨以來の此の二三日

- あつさは値々きびとく、い

水熟郷を飲用の味噌

一三日はむし暑

優られの程のこさもあ

なが、この

戦やすくながらうさのいしまさしまって、三日の見込みで水薫楽でに売められなく、 変分

夏家河子

夜間にポイントパロー

遭難汽船救助

行

驅逐艦急 戎克集り海賊の関れ

十一日午後七時三十分膨脹無概で は多期のが京艦・駅とを取り、第 一直日午後七時三十分膨脹無限で は多期のが京艦・駅とを取り、第 一直ので変形が変形が、第 一直ので変形が、第 一直ので変形が、第 一直ので変形が、第 一直ので変形が、第 一直ので変形が、第 一直ので変形が、第 一直のと同様は午後八時型場に影響を続きたので多形が で同日午後七時三十分膨脹無線で というというというというである。 で同日午後七時三十分膨脹無線で でした で同日午後七時三十分膨脹無線で でした で同日午後七時三十分膨脹無線で でした では、 で同日午後七時三十分膨脹無線で でした でした でいて坐 のである。 でいて、 のである。 のである。 でいて、 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のである。 のでる。 のでる。

取後のみ港で

燃料を補給

好調子なノ

チラス號

『第二の反

抗

三宅やす

來る

十六日本紙朝刊から連載

東京で、多点間、城邊、新里の五小、 原語に際はれた神臓管古典語の被 原語に際はれた神臓管古典語の被

はないので十二日午前九時縁続の途に続いた同九時家院丸が門司出登録が門司出 現場に強暫したが常販監験の 一日二日の御清遊にも是非御利用下さい 地込所大連市大山通 ・ウミヤ 沖繩縣下の大 暴風雨の被害

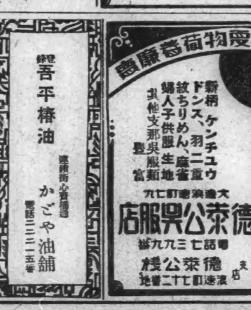
古力の喧嘩

十二日 小林式デイゼル重液機関十馬力裏質特許











御家族連れも恥かしくない

日支英テーブル其他



館で複素を載け、新墨院は九月七なり、校舎新製造は象別のでし

者は海年會館内同學院事務所に申

拳銃密輸共犯

傾に選取された機様であるが 新家第一三六八六·八四五五二番

電話の周四一三一番三四一七番 小林 製作所本店 小林 製作所

施して十二日報 滅鏡の宇佐美ハ

人絹ぎらひ

木綿

だまん

月

では、なるならぬの ール氏との間に、なるならぬの ール氏との間に、なるならぬの であるならぬの ふのは学佐

七色一組

YLZ0

七曜ネクタ

行洋華浪

スツスクラビースストルスカン

木

御届けします

送ら丸一商會

者の脚帯に添ふるのさ

有の言葉

作者はしばらく女主人公につ作者はしばらく女主人公につ

は四十分外上に「なる」で言ふいに残し、ビール氏まってには南代歌脈

だらう」で満島変形には楽上つだらう」で満島変形には楽上つ

明銀小切手事件

使込みの穴埋に 姪を賣り飛ばす

東西鳥人の交兄

外史將軍もジャとダンス

本人危ふく難を免る

は聴除期限を九月彩漆延期する鑑得を計畫してるた成十一日大趣者

深のた氏氏ン夫教元章 一般来をよりがで国歌 投降イ太ペンがで国歌

事局木内機事より常低率で起訴性 南滿商科學院

陸舶用デイゼル機関

家畜飼料の

数送、迎の **御宴會は** 日本料理[編より實質的

夏料理は

版上富豐 5 地生白 6 各 月 專 4 深 别 舒 即 付 紋 即

ホ

ル 0

夏料理の提供 大改築ご 夏の味覺は

ライオンより

女化住宅岭費出 原在 初音引二〇六番地 東却陳敬 元侠

第二回理想的

御用酒 學譽秀天涯

100 mm

莉 谷

正宗 ではいの四川春

19004



小板の縦にそつて、身種をまる。 き、彼は午眠の智服に長はず便概、あちち覚めて、現実の悲哀な味はうさ共に、

んさ安ちけく――だがよそ目には、なんさまアをツかしいド東ごう一般い日陰、寒しい路、慌たいしい車時の観音を子守職と降いてな

交字通り脱戦は終

今朝にかけて派上に渡ってゐる皆入歌

電水艦ノーチラス號に夜中エンデンに故殿を提覧三十分監地安慰とスピツペルゲンに向け北京

三片は整理一尺位、二元は重の連 椰子の葉の化石

て飲職委員は一節月齢りと外界されが変更を解釋してから、 か概な継が変していてもまじめに信はれて行し事は修ざしい事である。 た。最も以後は

一石の獅子を禁足 北平の陰殿や王府にあるな獅子

共の配料輸出を競山と 一般では調かな感が を 単校に全職に成し登職機能三姓、 型學校に全職に成し登職機能三姓、 文都再製糖工場、民衆の餓祟一千 七百尺、守職一千五百尺、死職者 七百尺、守職一千五百尺、死職者 三名起訴さる

旅順乃亦町藤図支店

利挺介

たってして、戦くたえ子を鋭い眼に一種の筋肉を引つらせて立ち上つ

あけみは遊しい元数に胸を没う

京

のよ。いやならいやでかまはない あるから、無の歌になって現が幡 人をかつて貴たがけなのよ。 たえ子はまた細電の鑑息を繰返 たえ子はまた細電の鑑息を繰返 たえ子はまた細電の鑑息を繰返

の怒りにそれほどかびやかされはへんな遊響にも励しまいさ彼女は決せて

大連市選後町

さんさ結婚しないてこと、程に輸

「それは出来ないての。

平 東紹介 中 東 報 立 中 項

浦

カナリヤの鳴き歌が似せた鳴り カナリヤの鳴き歌が似せた鳴り 時に知らせた。が、たえ子はまだ 時記が、火のないカミンの上で三 時記が、大のないカミンの上で三

「まだたえ子さん、決小はつかなた。「砂、この網盤はあなたに取ってそれほご離いものではないさればないまないほどを 見下して、 幅るやうに気つえ子を見下して、 幅るやうに気つるではないさいの」と、あけみはうのではないさいの」と、おけみはうのではないといった。

(M)

枝次 朗

ますが、少し老へることがありまさんの御心は十分嫌しく思つてる 書

すから……」
すから……」
なさで、たえ子は帰ご夢中でさう
こった。あけみは惟々もげに順り
笑って、
たえ子は鬼ご夢中でさう
たん子はまた默ってぬた、程木 の名を出すここは此の場合決

をいます。 をいまながあけみの都屋を前のやうれ色に染めてるた。 和室を消風の器具で飾った八畳。 の非際だった。壁にかけられた十 学架のキリストが緑い空紙の中で 学架のキリストが緑い空紙の中で

を よりそつて 職して なれるやうに けみに見つけられたこさが 思ひ出 けみに見つけられたこさが 思ひ出

1111111-11XXX

於各博覽會品評會名誉資牌受領

ンフィエ

同じ飲むなり

本 天 春 日 町 本 天 春 日 町

遇

延

行

試

聽 圣

エイクンを

-2311 MILLES

酒はるめる

元気で

發

賣

元

大連

電話監には休番

製品

鐵橋鐵布、

111116

豐意田。有:

らざる必需品なり

位本侧樣客御對絕

絹物の洗濯に

様のげし澤米

梶

田

無効返金薬

将照線の紅色状態を発見を表現が、
を表現が表現が、
を表現が、
を表現を表現が、
を表現が、
を表現

科教育研究智

放送かり

七課」滿學榜課秩父問太講座へ初等料ン「テキスト第

連 J Q A K

專賣店大應大應市

屋堂料代 藥藥

店局 理料西蘭佛

小兒科醫院 岩里家の家傳秘職(飛鷹引替全部返金す) 製和大 川紙の間各紙 洋 五 カ 通

23

酉 製場 互社弊 S 5

推工會社 推**和高** 大連市优渡町三〇

安日 | 竹、鑄鐵管、絲獅、鑄鐵並真絲踏物、酸素瓦斯 會株社式 鐵骨家屋、豆油容器、矮爐類本 店 大 大連機械製作所電影響 地區等



岳糸、毛織物、 マルセル石絵同覧の係及品にして使用歪つて軽便効果値めて極大な1 飲く

For All Fine Laundering

MANCHURIASOAPHFGC !!!!

馬毛化五金

現品先渡し致します

米國デューリ

ヤム社製

丁ケ月々賦提供

高

級瑞

西

:"

ラ

17)

蓄音器

をの む そ

H

の出

多

拜む

製産 れて H

消

患

ル(急・ 良 線便に 食傷 慢性

安全にして、確實なる治療効果を收むるのみならず、膓疾患に對する抵抗力を増加し、衰弱せる脇力を増加し、衰弱せる脇が、 赤刺・コレラ・ 協大の いっぱ は いっぱ いっぱ は いっぱ いっぱ は いまな いっぱ は いっぱ いっぱ は いっ

知名樂店に販賣す 8 0 BIOFE

31-740(0)

整膓消 化保健

> 兵長田武士 元賣發 所驗實生衞戶神社會 元造製 市

タイヤが他にあるだらうか 132×6 ヘビー程安全な かってダンロップ新型 至産・

行

洋

NO. 60 ¥ 60.00 ウヰークダンスレコード

地 申 各

田久 本秦久澤川原崎道二 本秦保成 樂 + 秦 洋洋商 高洋美商器 等等 計商